

8. 目標達成のための事業・実施主体の検討

8.1 検討の手順

以下の手順により、重点施策を基に目標達成のための事業及び実施主体の内容を検討します。

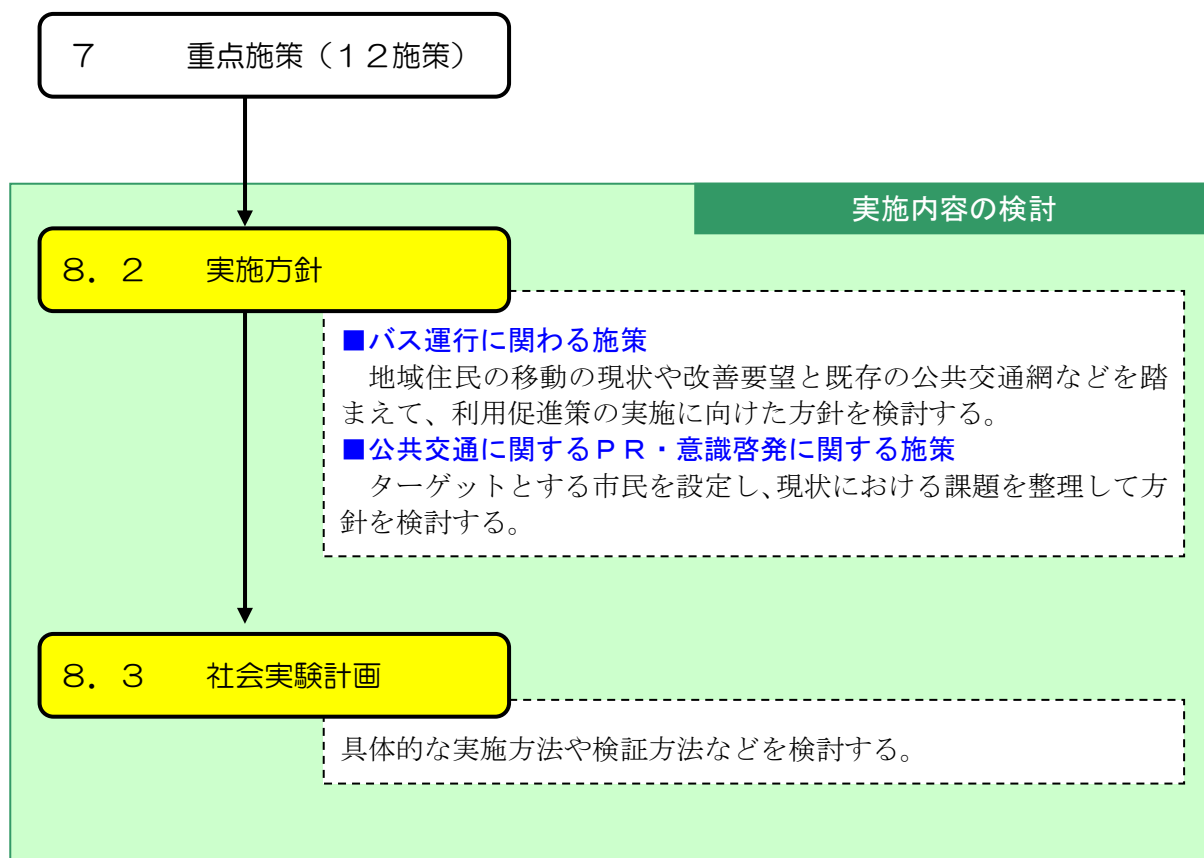


図. 検討手順

8.2 実施方針（事業内容・実施主体）

施策 1-4

東三条～燕間路線バスの燕市吉田方面への連携強化

実施主体：三条市地域公共交通協議会（三条市・法定協議会参加交通事業者）

（１）連携強化に向けたバス網の再編

東三条～燕間の既存路線バスと燕市循環バス「スワロー号」の連携を図るとともに、三条市循環バス「ぐるっとさん」の燕三条駅へのアクセスを検討します。

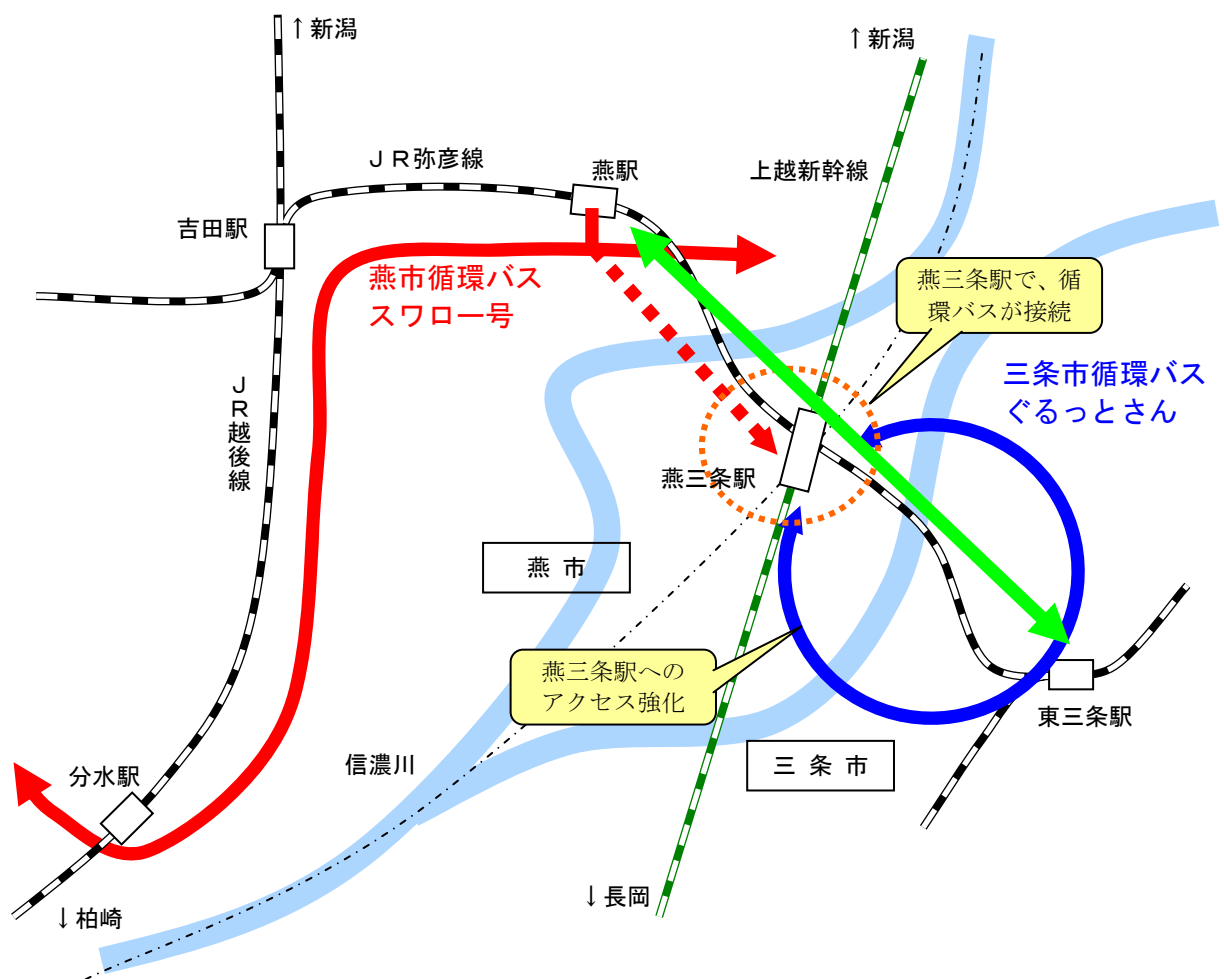


図. 連携強化イメージ

(2) 運行時刻および本数

三條市循環バス「ぐるっとさん」と燕市循環バス「スワロー号」の乗り換え利便性に配慮した時刻設定や運行本数にします。

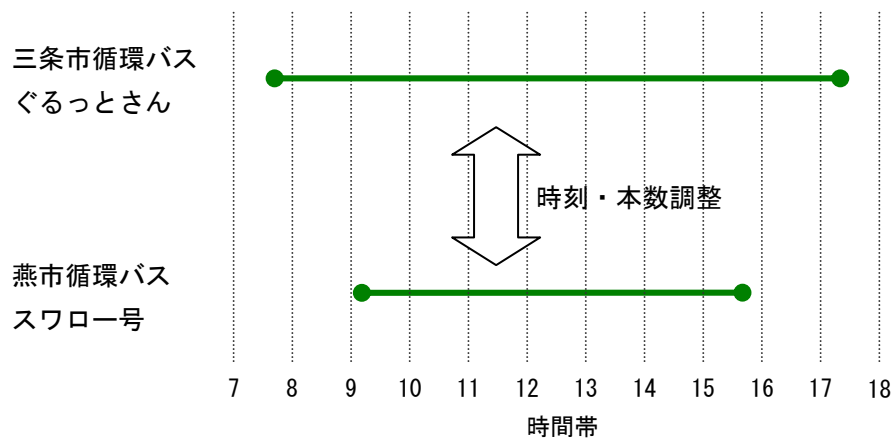


図. 循環バスの運行時間帯

表. 燕市および弥彦村の三條市への通学者のJR弥彦線に対する改善ニーズ

- 「2時帯の電車があると非常に助かる。今の状態は1時帯の電車を乗り過ぎると2時間も待ち時間が生まれる」
- 「弥彦線で2時発の電車を作って欲しい」
- 「終電が早い。吉田～柏崎間の本数が少なく2時間近くまったりすることがあって困る」
- 「弥彦線の8：14電車と9：40電車の間に1本増やしてほしい」
- 「もっと電車の本数を増やしてください」
- 「東三條駅発の16時の電車をもう少し遅くして欲しい」
- 「東三條駅発16：00の電車をもう少し遅くして欲しい」
- 「せめて弥彦線を30分に1本くらいにして欲しいです。あとせめて終電は11時くらいにして欲しいです。16時半位のも欲しいです」
- 「弥彦線8：05東三條着からの信越線長岡方面の乗換列車を増発してほしい（8：10頃）朝、学校に行くのがありません。弥彦線と信越線の直行列車を増やした方がいいと思う」
- 「東三條駅からの午後の電車の本数を特に増やしてほしい。東三條駅8：05着からの信越線の接続の時間をもっと早くしてほしい」
- 「16時と17時の電車の間が開きすぎていると思うので、時間を調節してほしい」
- 「弥彦線の本数が少ない。吉田行きの16時台の電車を遅くしてもらいたい。（授業が終わってから乗れるように）」

※学生アンケート自由意見より

弥彦線の16時台の運行時刻の改善ニーズが高い

施策 2-3

高速バス利用のためのパークアンドライド用駐車場の整備

実施主体：三条市地域公共交通協議会（三条市）

（１）三条競馬場跡地を利用した駐車スペースの確保

■ 駐車スペース

三条市内の新潟方面高速バス利用者の実態を踏まえて、三条競馬場跡地周辺を候補地とし、河川協議等により実施の可能性を検討します。

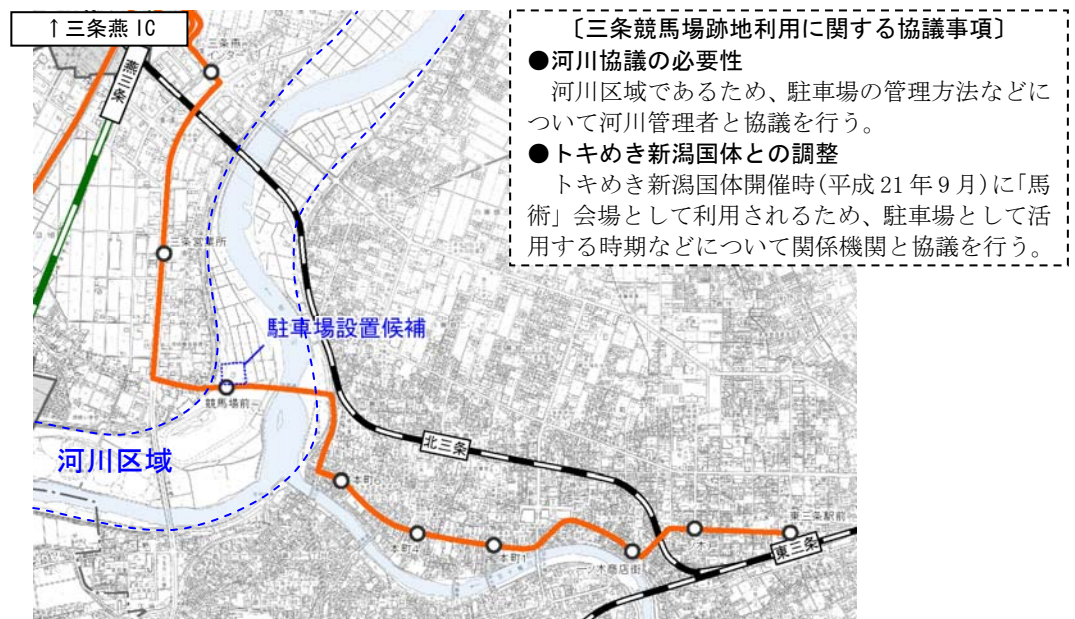


図. 三条競馬場跡地周辺の駐車場候補地(案)

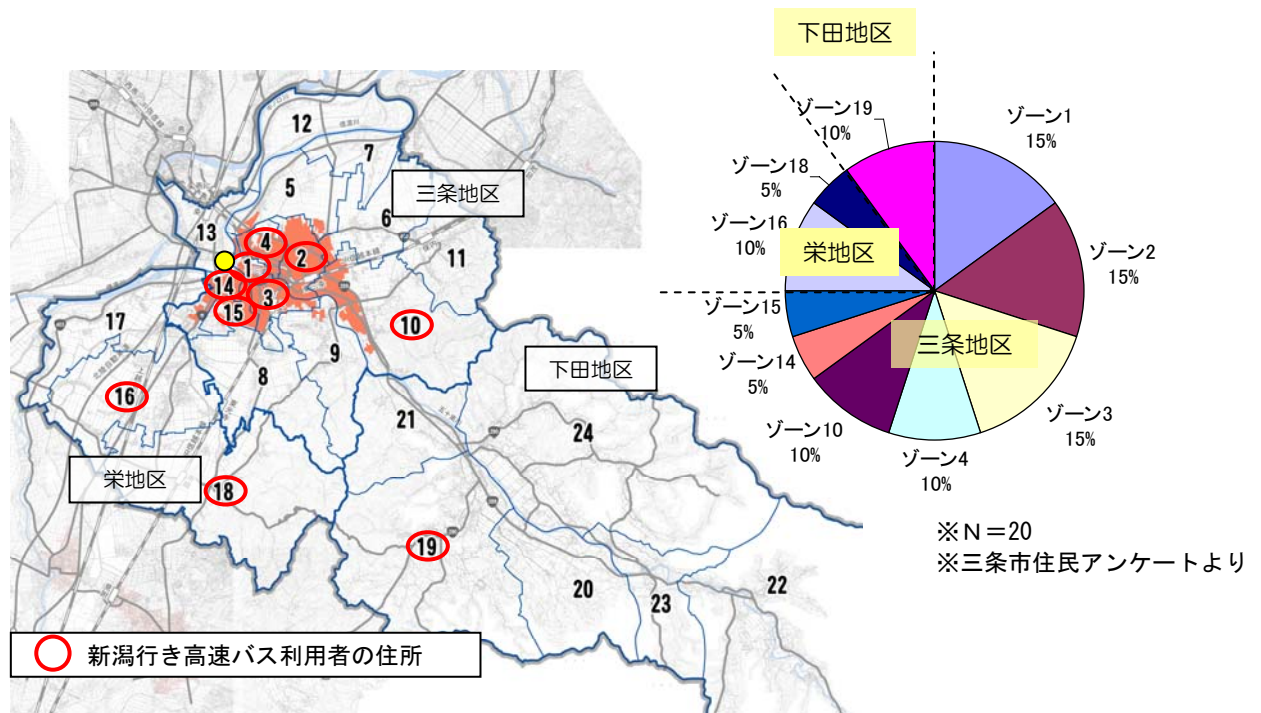


図. 新潟市方面高速バス利用者のゾーン別内訳

■ 駐車場利用料金

高速バス停留所周辺駐車場の料金を参考にするとともに、河川区域における駐車場管理方針など協議した上で、バス利用料金を含めたトータルコストから総合的に料金を設定します。

■ 高速バス運賃割引

三条燕ICの高速バス停からの利用は、他方面への高速バス路線が集中し運行頻度が多く、また、競馬場跡地からの利用に比べバス利用料金が安くなっています。

そのため、駐車場の利用を促進するためには、駐車場利用者に対して、三条燕ICバス停からのバス利用料金と同等の料金設定にする等の検討を行います。

表. 高速バス運行本数 ()

行き先	運行本数(片道) 本/日	
長岡	35	} 三条燕 IC バス停からは約 70 本/日
十日町	5	
直江津・高田	15	
柏崎	12	
糸魚川	2	
新潟	20	→ 三条市内からは 20 本/日

表. 新潟行 高速バス料金

	巻・潟東	鳥原	新潟駅前～中央インター前
東三条駅前～競馬場前	310 円 (160 円)	530 円 (270 円)	710 円 (360 円)
三条営業所	240 円 (120 円)	520 円 (260 円)	710 円 (360 円)
三条・燕インター前	240 円 (120 円)	480 円 (240 円)	650 円 (330 円)
巻・潟東		310 円 (160 円)	540 円 (270 円)
鳥原			310 円 (160 円)

※新潟交通(株)HPより
() 内は小人料金

表. 利用料金(案)

(料金例)

競馬場前バス停～新潟駅前 片道710円 →競馬場跡地利用者 片道650円
三条燕インター前バス停(三条燕 IC)～ 片道 650 円

(2) 三条燕バス停周辺(燕市内)におけるにおける駐車スペースの確保

三条燕バス停周辺の商業施設を候補地とし、買物サービスなどの連携を含めて駐車場確保に向けた可能性を検討します。

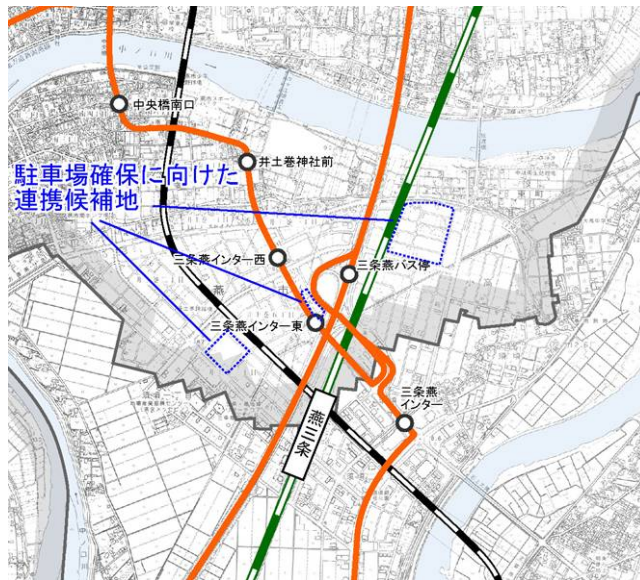


図. 駐車場設置候補地

(3) 路上駐車を取り締まり強化と利用ルールの徹底

駐車場確保と合わせて、高速道路周辺の路上駐車を取り締まりを強化します。

また、駐車場のマナー向上に向けて利用ルールを徹底することで、三条燕IC周辺の環境改善に取り組みます。

施策 2-4

観光客対応のデマンド型バス(または乗合タクシー)の運行
観光企画チケットの導入

実施主体：三条市地域公共交通協議会（三条市・法定協議会参加交通事業者、観光関係機関）

（１）観光客・イベント対応のデマンド型公共交通の運行

■運行形態

タクシー事業者が行っている観光地周遊サービスを活用するとともに、三条風合戦などのイベント開催時の燕三条駅発のデマンド型シャトル便を運行します。

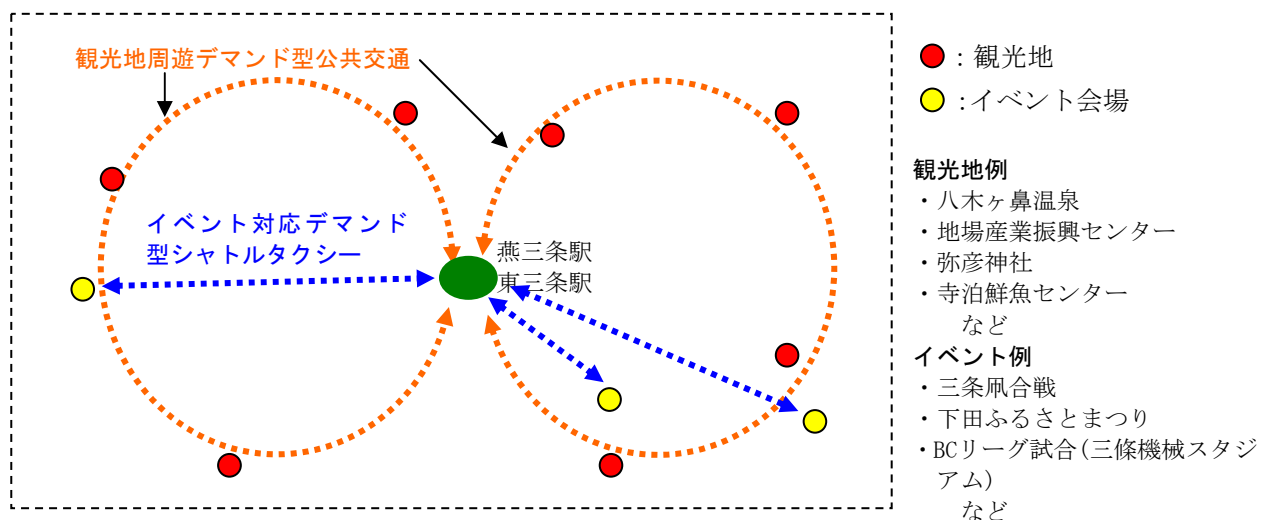


図. 観光客対応のデマンド型公共交通の運行イメージ

■観光ナビゲートサービス

観光向け公共交通に合わせて、歴史文化などをガイドする案内人の配置、観光マップの配布など、観光をナビゲートするサービスを実施します。

(2) 観光企画チケットの導入

主要な観光地を周遊できる公共交通料金と施設利用券などセットにした観光企画チケットを導入します。

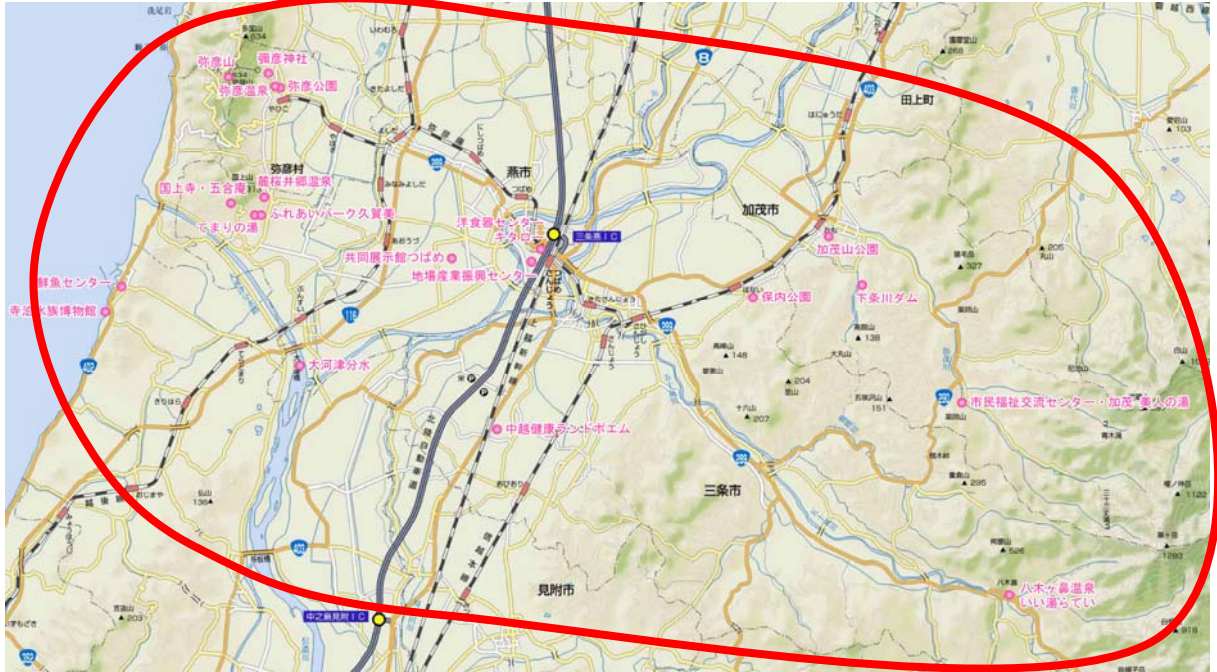


図. 観光企画チケット対象エリア(案)

(3) PR活動の展開

観光地の紹介とともに、既に実施している観光貸し切りタクシーや公共交通手段をインターネットや観光雑誌などを活用してPRを実施します。

日丸観光タクシー

トップ 越後路めぐり 営業案内 会社概要 リンク

三桑・燕と県都・新潟市とを結び乗り合いタクシー「星空便」

越後一の高、弥彦神社の上越新幹線最寄駅、燕三条駅。新潟県のほぼ真ん中に位置し、県内の観光巡りの発着点として最適な地域です。

一日コース

コース名	ルート	ジャンボ	中型	小型
良寛樹木跡巡り	燕三条駅-良寛墓-良寛記念館-密蔵院-寺泊アメヤ横町-国上寺-五合庵-帰路・宿泊先	¥65,520	¥45,840	¥33,000
越後豪農巡り	燕三条駅-北方博物館(豪農伊藤邸)-鶴崎-市島邸-清水園(足軽長屋)-考棚寺-帰路・宿泊先	¥65,520	¥45,840	¥33,000
越後ワインと地ビール	燕三条駅-カーブドッグ(ワイナリー)-越後ビール-弥彦神社-ケールパークで弥彦山頂-七瀬シーサイドライン-寺泊アメヤ横	ジャンボ	中型	小型

図. 日丸観光タクシーが実施中の観光貸し切りタクシー「越後路めぐり」HP (H20.3 現在)

施策 3-4

買物利便性の向上に向けた主要駅と市街地商店街および大規模小売店舗を結ぶバスの運行
商業施設と連携した誘客チケットの導入

実施主体：三条市地域公共交通協議会（三条市・法定協議会参加交通事業者、商工関係機関）

（１）買物利便性の向上に向けたバス運行

■運行ルート

定時定路線型の運行とし、各方面からのバスの起終点となっている東三条駅と三条市街地商店街や主要な商業施設を結ぶルートを設定します。

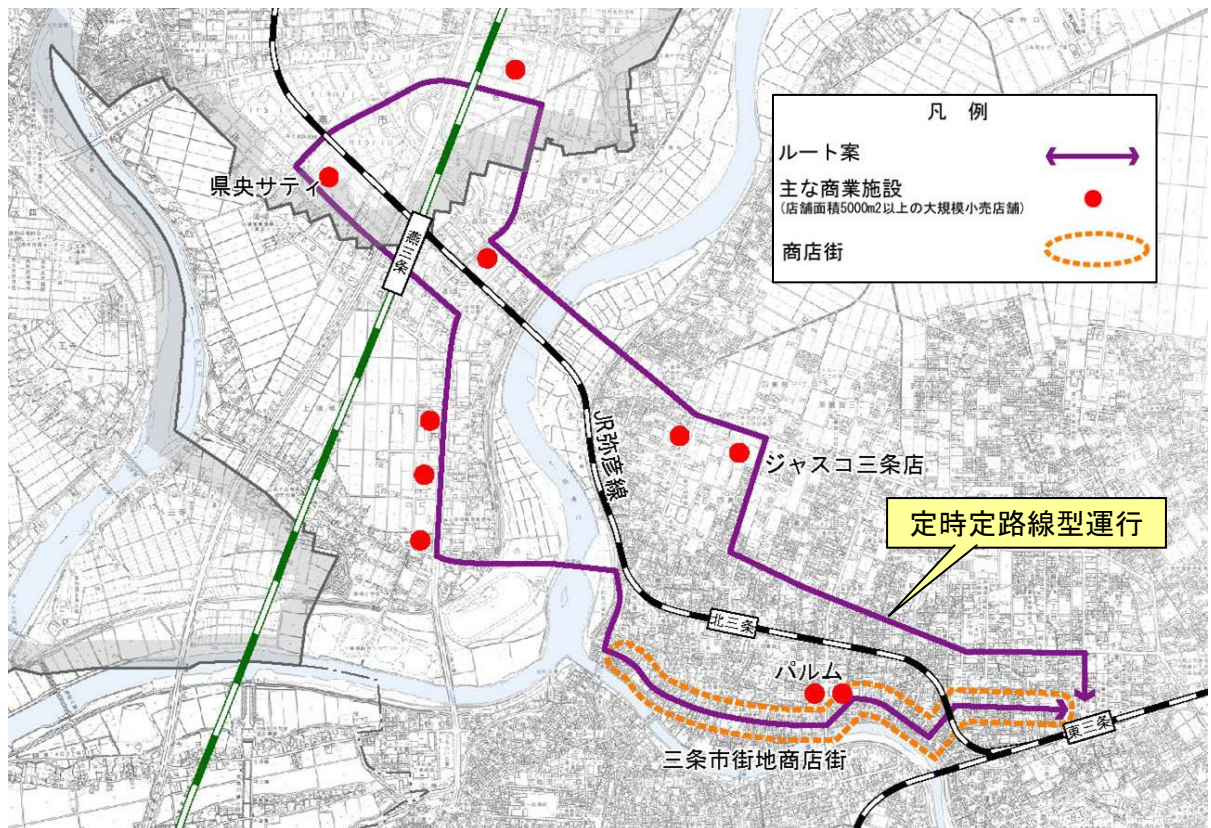


図. 買物利便性の向上に向けたバスのルート案

■運行時間帯

経由する商業施設の営業時間帯に対応した運行時間帯を設定します。

表. 主な商業施設の営業時間

店舗	営業時間
ジャスコ三条店	本館 10:00～21:00 食品売場は 24 時間
パルム 1 階食品売場	9:00～22:00
県央サティ	9:00～21:00 食品売場は 9:00～23:00

※H20 年 3 月現在

■運行頻度

各商業施設の周遊性を高めるためには、日中の時間帯において高い運行頻度サービスが必要と考えられます。そこで、市民の買い物時間ニーズを調査によりきめ細かく把握し、ニーズにあった運行頻度を設定します。

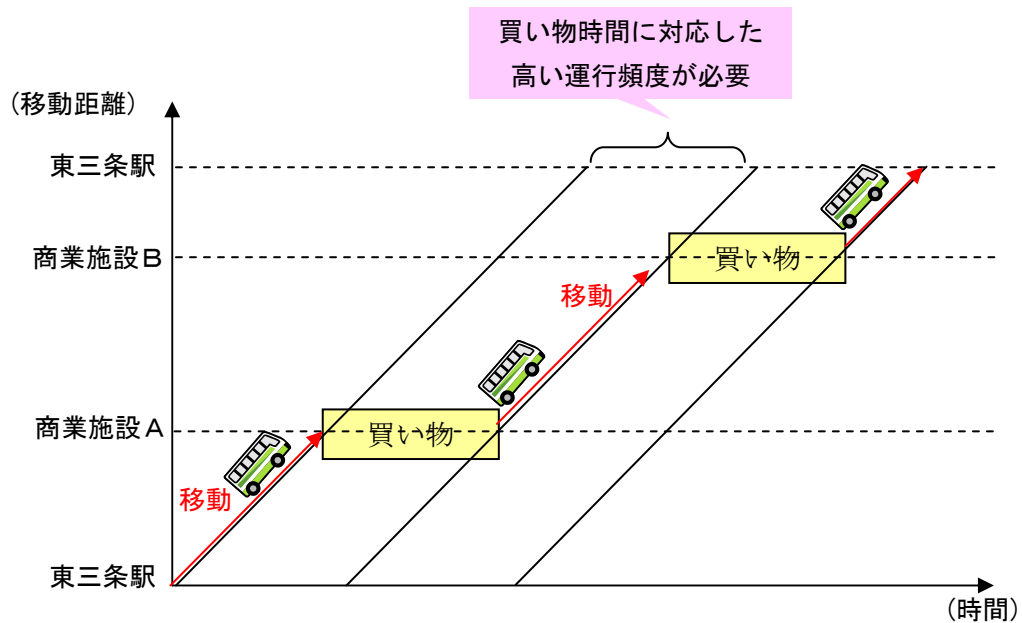


図. 買い物行動イメージ

(2) 商業施設と連携した誘客チケットの導入

バス利用者に対する買物割引サービスや買物客のバス運賃割引サービスなど、商業施設と連携したサービスを実施します。

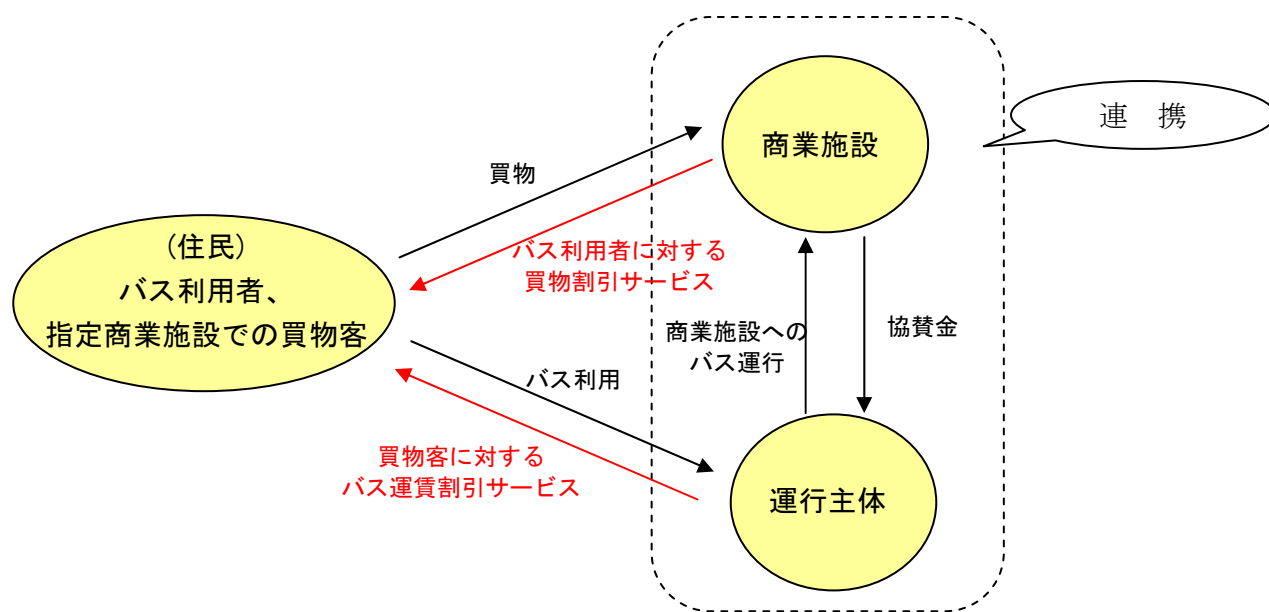


図. 誘客チケット導入イメージ

施策 4-3

高齢者用デマンド型バス(または乗合タクシー)の運行

社会実験実施施策

実施主体：三条市地域公共交通協議会（三条市・地区協議会・法定協議会参加交通事業者）

■対象エリア

栄地区・下田地区に導入し、利用者については登録会員制とします。

■運行方法・運行頻度

通院や買い物など多様な移動ニーズに対応するため、30分から1時間間隔の時刻表を設定し、予約があった便のみ運行するデマンド方式を導入します。

起終点・需要対応型、施設到着時刻を設定し、自由な経路で自宅前まで送迎します。

⇒フレックス方式のデマンド型公共交通

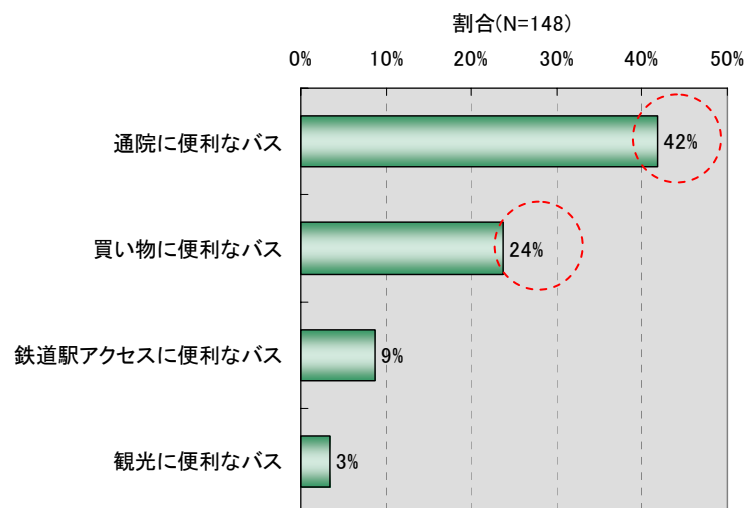


図. 栄地区および下田地区の60歳以上のバスに対するニーズ

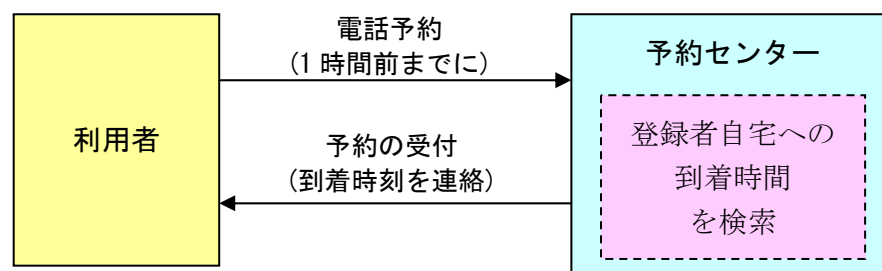


図. デマンド予約システムイメージ

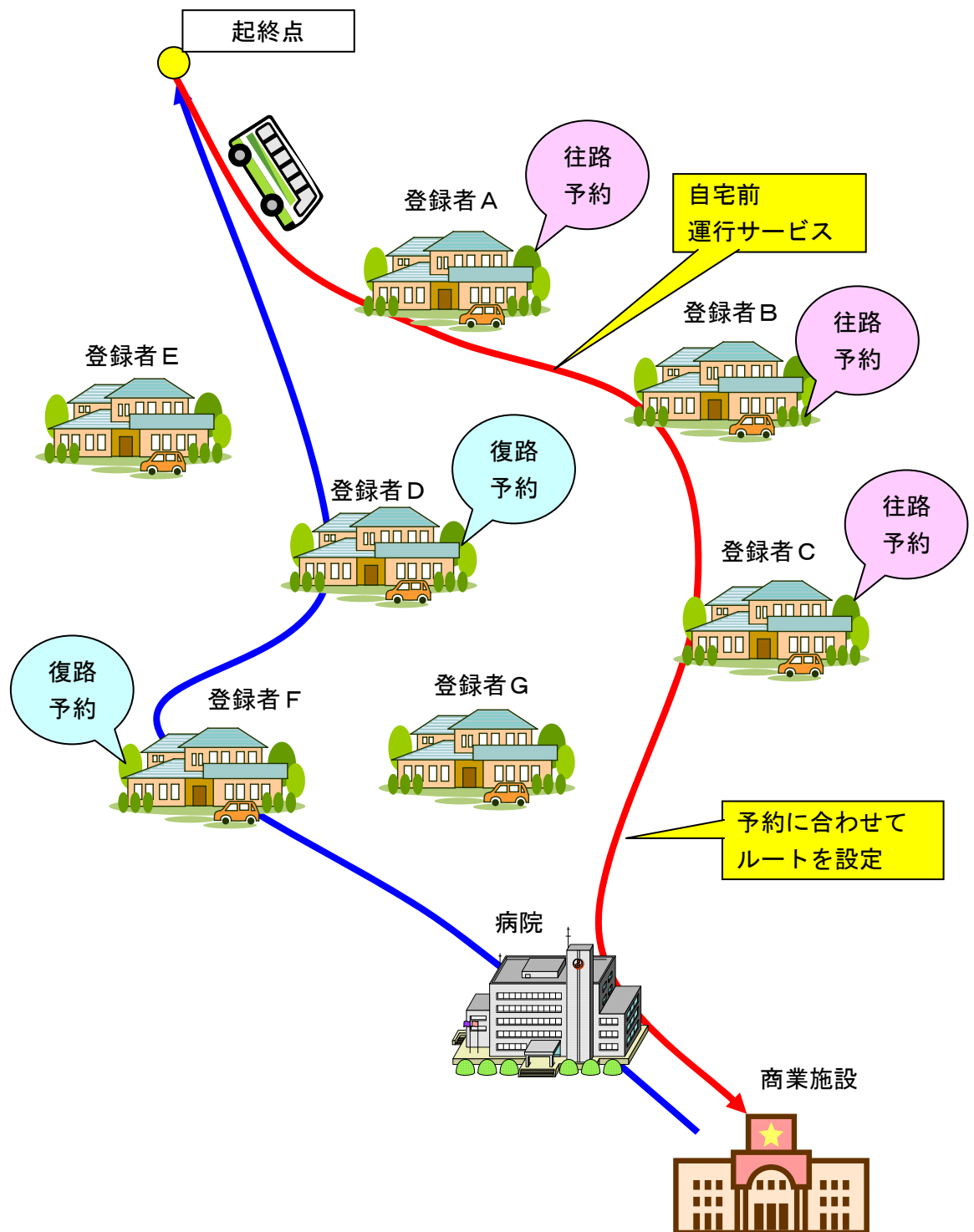


図. 運行方法イメージ

■ 目的地

目的地は利用ニーズ調査によりニーズの高い施設を設定します。

通院・買物に便利なバスの希望
経路地の約7割が市中心部

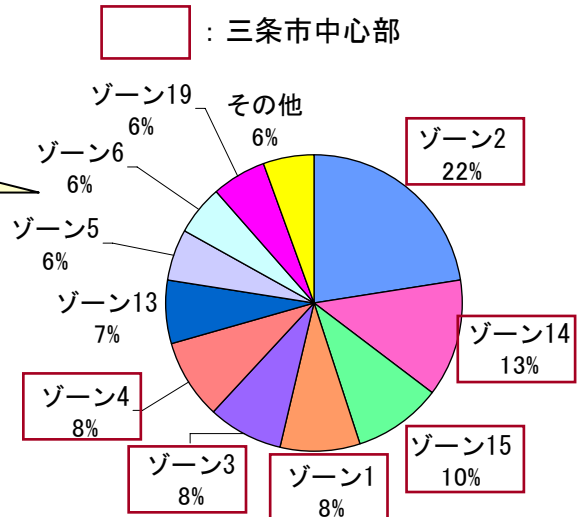
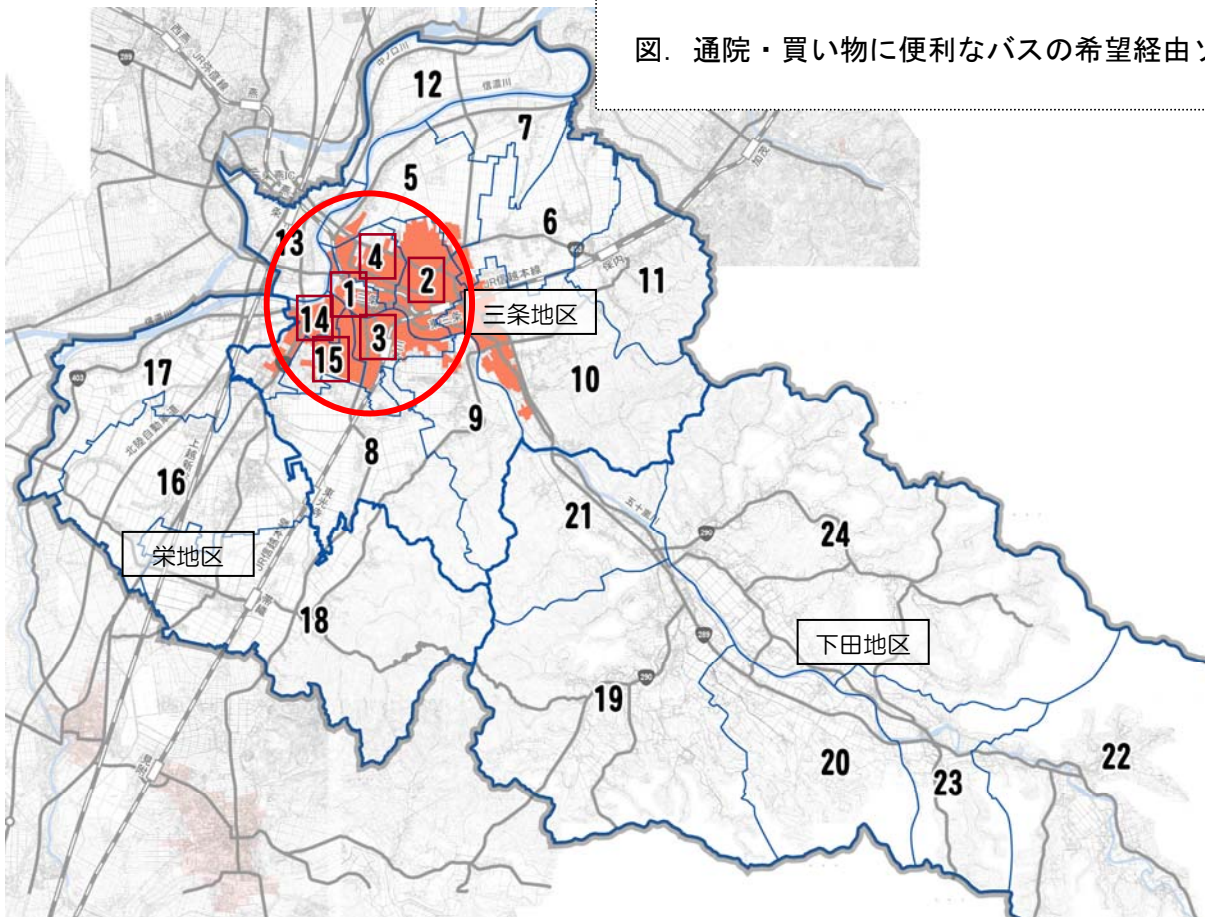


図. 通院・買い物に便利なバスの希望経路ゾーン



(資料)三条市の公共交通に関するアンケート調査(H19年12月実施)

■ 運行時刻表

往路については施設の到着時刻を固定した運行時刻を設定し、復路は経由する施設の発時刻を設定します。

往路の場合、利用者にとって、施設の到着時刻がバス利用に関わる要素と考えられることから、到着時刻を設定

(往路)

起点発時刻	登録者自宅前 着時刻	〇〇バス停 着時刻(固定)	〇〇駅 着時刻(固定)	〇〇病院 着時刻(固定)
予約状況に踏まえて、施設到着時刻から逆算して設定		7:45	8:00	8:15
		8:45	9:00	9:15
		・	・	・
		・	・	・
		・	・	・
		16:45	17:00	17:15
		17:45	18:00	18:15
固 定				

(復路)

〇〇駅 発時刻(固定)	〇〇病院 発時刻(固定)	〇〇バス停 発時刻(固定)	登録者自宅前 到着時刻
12:00	12:15	12:30	予約状況に踏まえて、施設発時刻から検索した所要時間を加算し設定
13:00	13:15	13:30	
・	・	・	
・	・	・	
・	・	・	
17:00	17:15	17:30	
18:00	18:15	18:30	
固 定			

表. 時刻表設定イメージ

施策 4-4

地域内における学生用デマンド型バス(または乗合タクシー)の運行

社会実験実施施策

実施主体：三条市地域公共交通協議会（三条市・法定協議会参加交通事業者）

(1) 小中学生に対応した学生用デマンド型バス(または乗合タクシー)の運行

■対象とする学校区

登下校距離が他に比べ長く、現状においてスクールバスが運行されていない学校区を対象とします。

※「施策 5-4 地域住民が主体となったコミュニティバスの運行」と連携

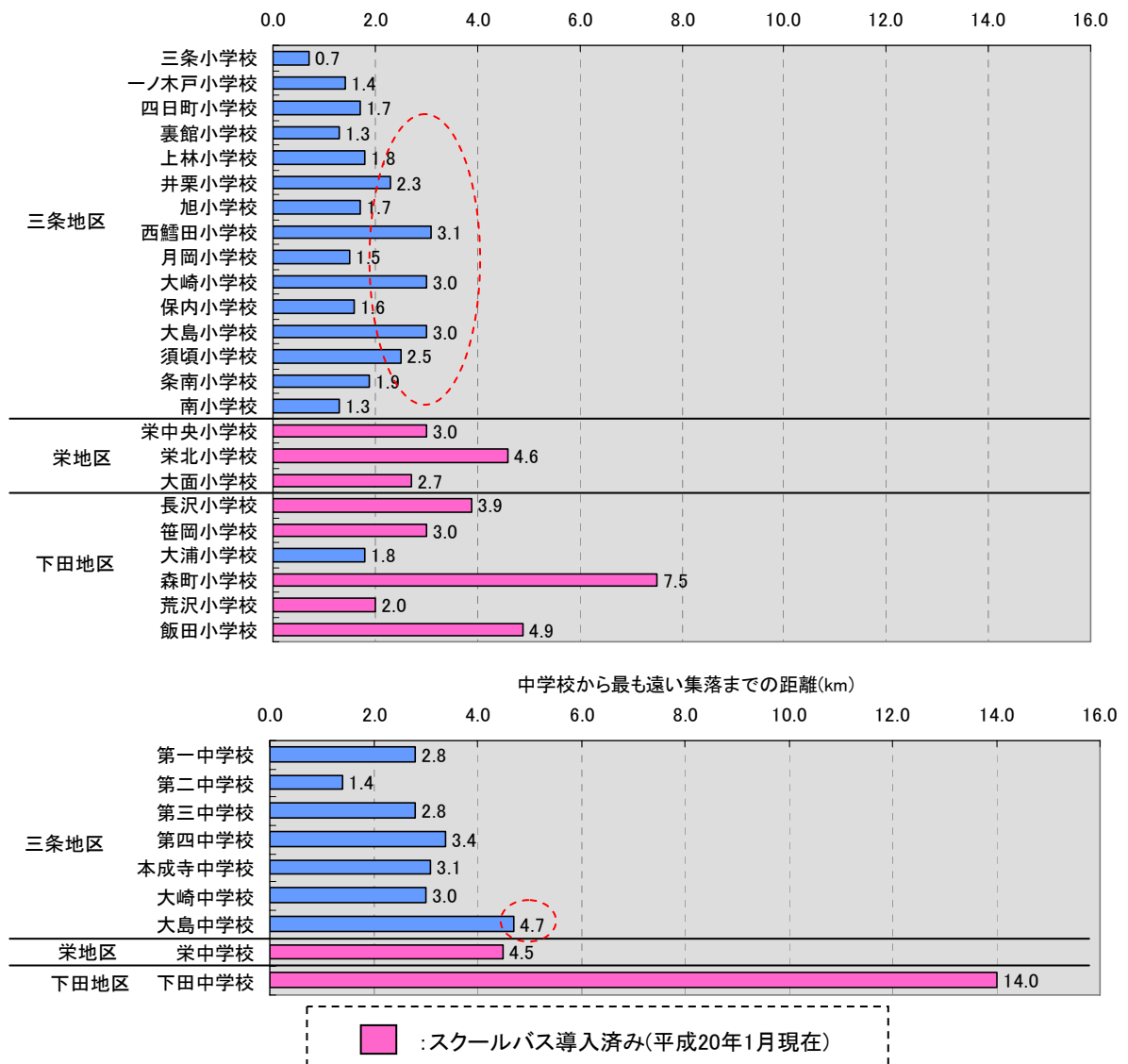


図. 学校区別の最大登下校距離(再掲)

※学校から直線距離で測定

図. 学生用デマンドバス(または乗合タクシー)の運行対象学校区(案)

- ・ 大島小学校区、須頃小学校区、大島中学校区に対応する地区
- ・ 井栗小学校区に対応する地区
- ・ 西鱈田小学校区に対応する地区
- ・ 大崎小学校区に対応する地区

■運行ルート

集落を巡回しながら、小中学校へ向かうルートを設定します。

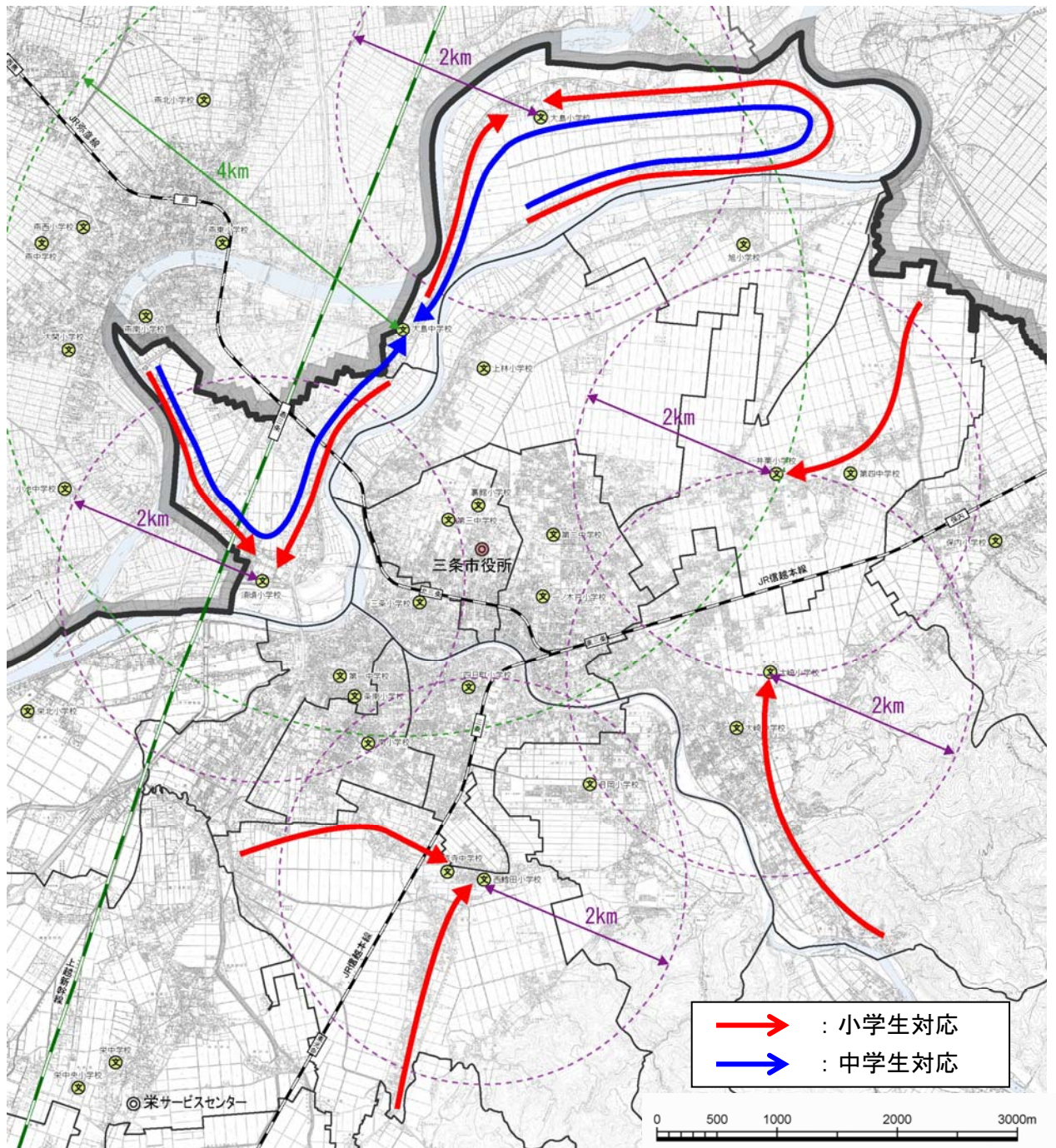


図. 学生用デマンドバス(または乗合タクシー)の運行ルートイメージ

■運行期間・運行方法

通年運行とし、通常授業時の登校や終業後の下校時は定時定路線型の運行、放課後や土日・休業期間においてはデマンド型の運行で対応します。

表. 運行方法

	登校時	下校時	
通常授業時	定時定路線型運行	定時定路線運行	デマンド型運行
土曜休日 夏休みなどの休業期間	デマンド型運行	デマンド型運行	

■運行時刻

学校の授業時間を考慮して設定します。

表. 各学校の登校・下校時刻

学校名	生徒数	登校・下校時刻
大島小学校	83 人	8:00 登校 15:55 下校
井栗小学校	391 人	8:10 登校 15:45 下校
須頃小学校	108 人	8:00 登校 16:00 下校
西鱈田小学校	262 人	8:10 登校 16:00 下校
大崎小学校	420 人	8:00 登校 15:50 下校
大島中学校	109 人	8:20 登校 16:05 下校

※平成 20 年度予定生徒数

(2) 高校生に対応した学生用デマンド型バス(または乗合タクシー)の運行

■運行ルート

栄・下田地区の地区外に通う高校生を対象に、各地区の運行頻度が高い公共交通軸にアクセスするルートを設定します。

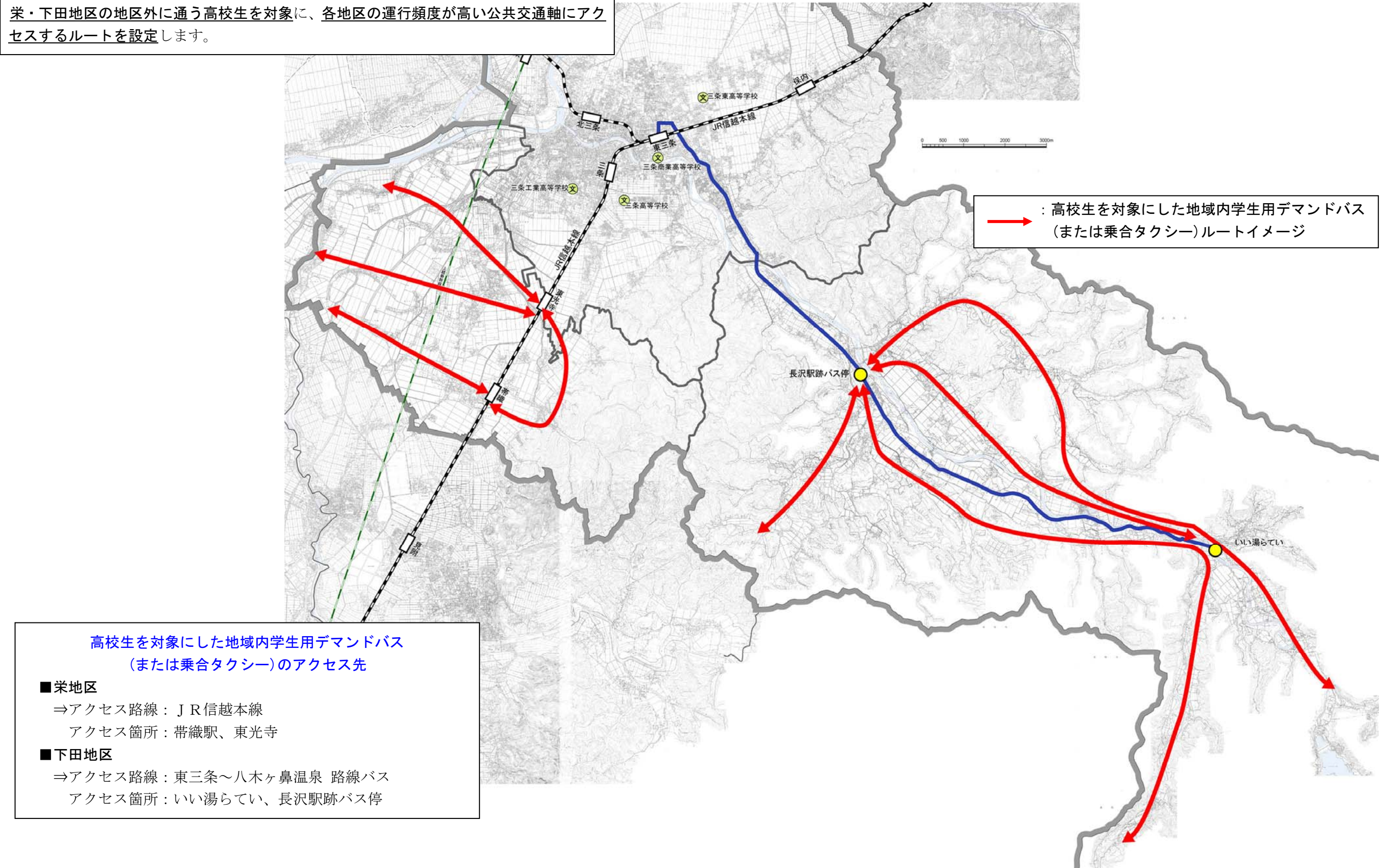


図. 高校生を対象にした学生用デマンドバス(または乗合タクシー)の運行ルートイメージ

■運行方法

通年運行とし、通常授業時の登校や終業後の下校時は定時定路線型の運行、放課後や土日・休業期間においてはデマンド型の運行で対応します。

表. 運行方法

	登校時	下校時	
通常授業時	定時定路線型運行	定時定路線運行	デマンド型運行
土曜休日 夏休みなどの休業期間	デマンド型運行	デマンド型運行	

表. 各高校の開始時刻等

学校名	開始	授業終了	掃除終了	部活終了
三条商業高校	8 : 4 5	1 5 : 2 5	1 5 : 4 5	1 8 : 3 0 1 9 : 0 0 閉門
三条高校	8 : 4 5	1 5 : 5 0 水曜のみ 1 6 : 0 5	1 6 : 0 5 水曜 1 6 : 2 0	1 8 : 3 0
三条東高校	8 : 4 5	1 5 : 5 0	1 6 : 1 0	1 8 : 3 0 1 9 : 0 0 閉門
新潟県央工業高校	8 : 4 5	7 時間授業日 1 5 : 5 5 6 時間授業日 1 5 : 0 5	1 6 : 1 5 1 5 : 2 5	1 9 : 0 0 閉門

施策 4-5

下田地区～市中心部間の通学専用バスの運行

社会実験実施施策

実施主体：三条市地域公共交通協議会（三条市・地区協議会・法定協議会参加交通事業者）

■運行方法・運行ルート

定時定路線型の運行とし、下田地区の長沢駅跡バスターミナルと市内の高校を結ぶ路線を設定します。

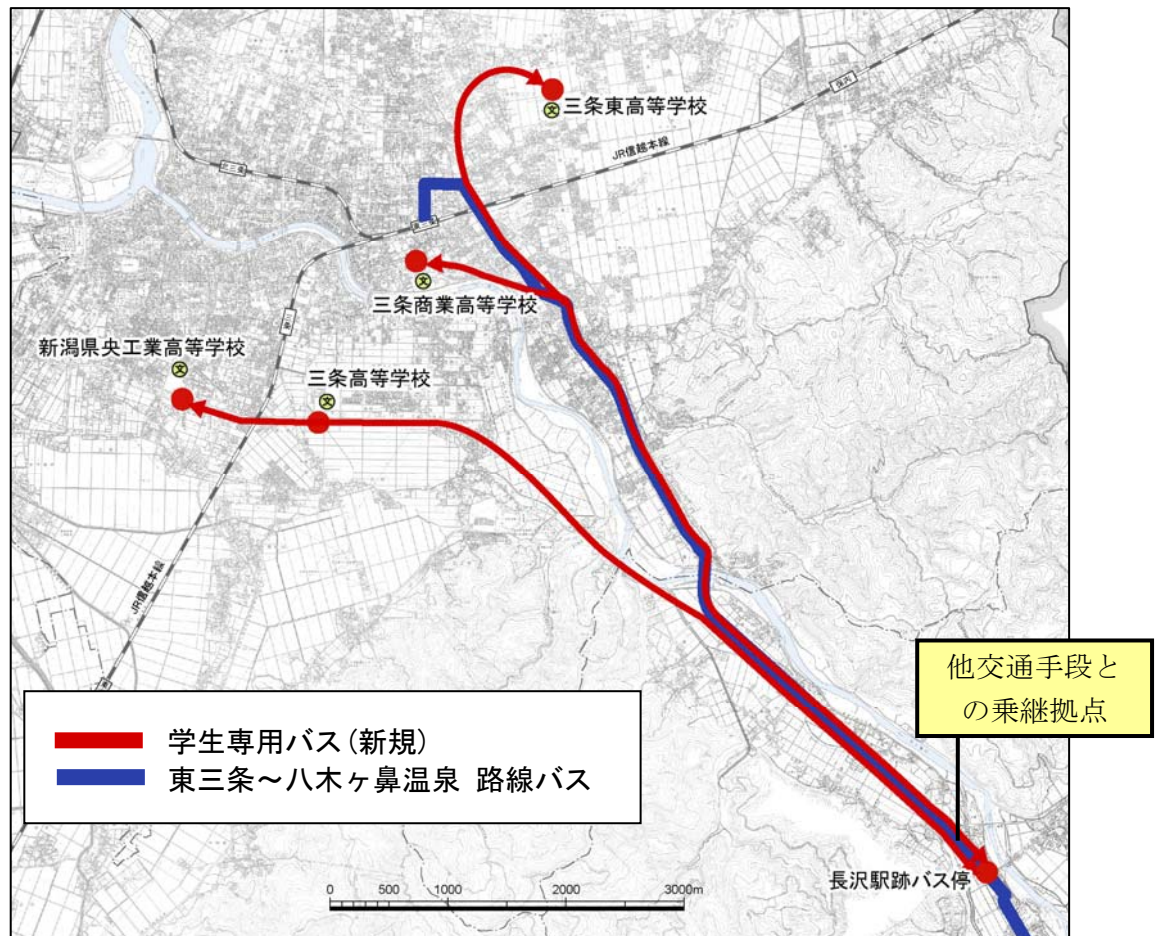


図. 運行ルート

表. 下田地区の高校別通学者数

三条高校	約 30 人
三条商業高校	約 80 人
三条東高校	約 40 人
新潟県中央工業高校	約 30 人
市外の高校	約 120 人
合 計	約 300 人

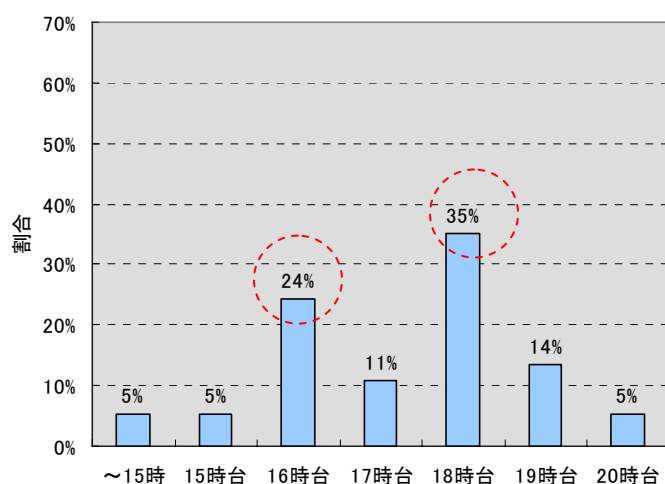
※平成 20 年 2 月現在
※下田中学校および市内各高校ヒアリングにより調査

■ 運行時刻および本数

始業時刻や生徒の下校時刻、長沢駅跡における他路線との乗り換えを考慮して設定します。

表. 各高校の開始時刻等

学校名	開始	授業終了	掃除終了	部活終了
三条商業高校	8 : 4 5	1 5 : 2 5	1 5 : 4 5	1 8 : 3 0 1 9 : 0 0 閉門
三条高校	8 : 4 5	1 5 : 5 0 水曜のみ 1 6 : 0 5	1 6 : 0 5 水曜 1 6 : 2 0	1 8 : 3 0
三条東高校	8 : 4 5	1 5 : 5 0	1 6 : 1 0	1 8 : 3 0 1 9 : 0 0 閉門
新潟県央工業高校	8 : 4 5	7 時間授業日 1 5 : 5 5 6 時間授業日 1 5 : 0 5	1 6 : 1 5 1 5 : 2 5	1 9 : 0 0 閉門



※高校生アンケートより

下田地区から三条高校、三条商業高校、三条東高校、新潟県央工業高校への通学者
N=37

図. 下田地区から三条地区への高校通学者の帰宅時学校発時刻別割合 (通常平日)

施策 4-6

循環バス「ぐるっとさん」の運行形態の見直し

社会実験実施施策

実施主体：三条市地域公共交通協議会（三条市・法定協議会参加交通事業者）

（１）運行見直しの考え方

Aコース・Bコースについては、高校生に対応した運行時間帯やルートの見直しを実施します。

また、北・南コースについては、地域コミュニティ単位など住民が主体となったバス運行を検討します。

※「施策 5-4 地域住民が主体となったコミュニティバスの運行」と連携

図. 「ぐるっとさん」問題点と見直しの考え方

	現状の問題点・課題	見直しの考え方
Aコース Bコース	●駅や高校など、三条市中心部の主要な施設を経由しているが、日常的に学生の利用が少ない。	●学生に対応した運行サービス・利用環境に改善
北コース 南コース	●大きく迂回するルートのため、目的地までの所要時間がかかる。	●住民が主体となったバスの運行を検討 ⇒施策 5-4 で検討

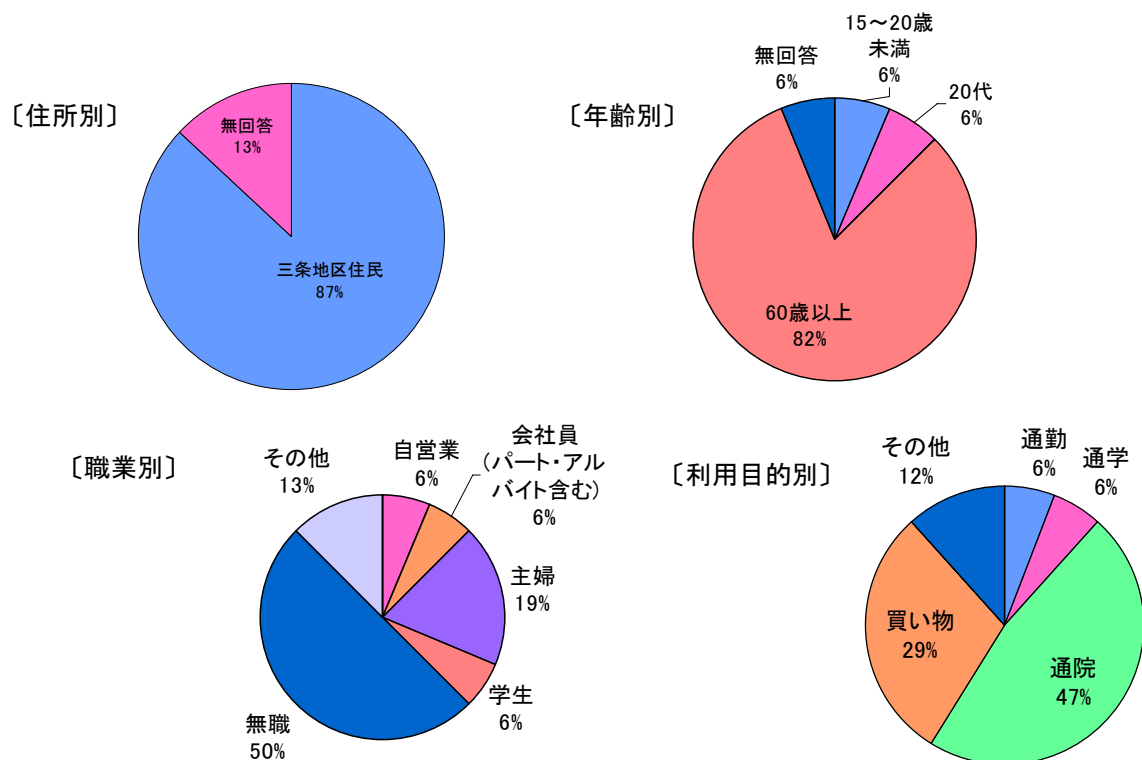


図. 「ぐるっとさん」の利用者内訳

※三条市住民アンケート「ぐるっとさん」利用者 N=16

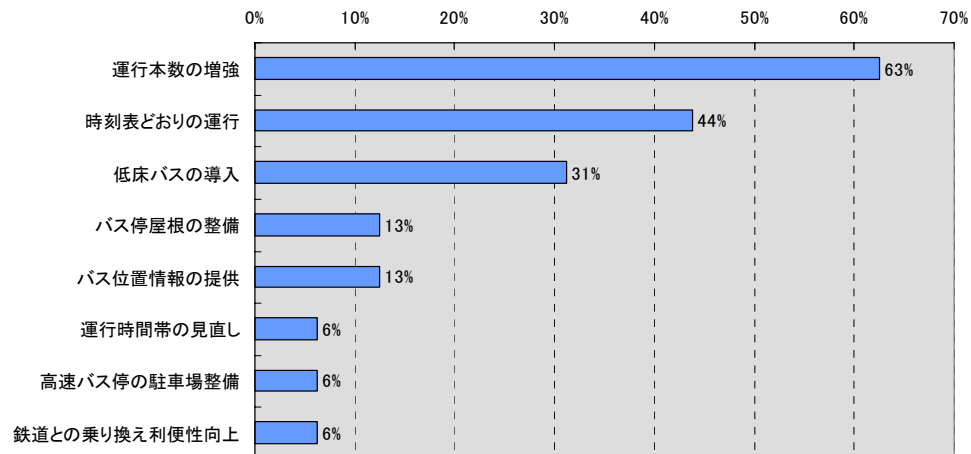
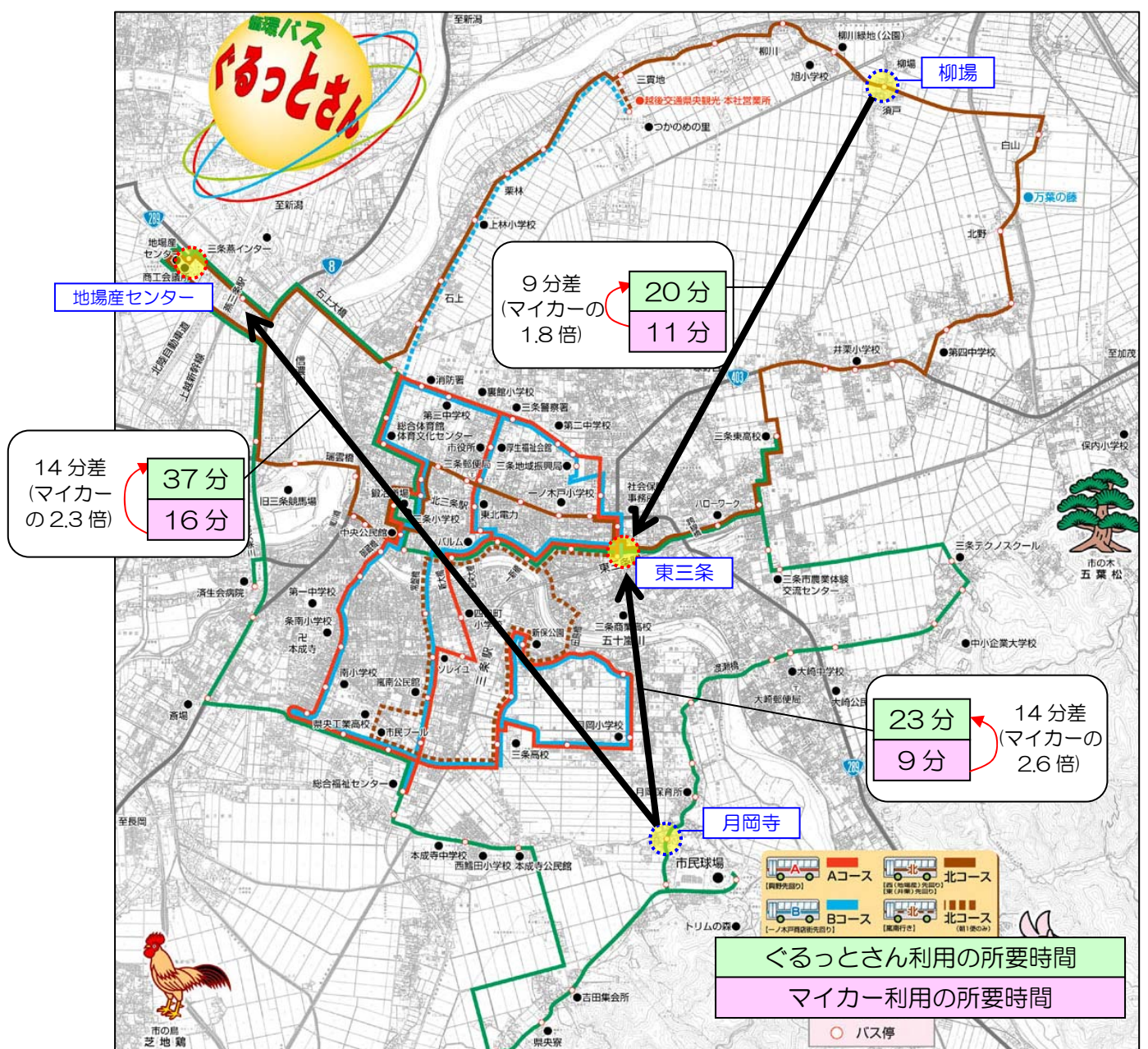


図. 「ぐるっとさん」の改善要望

※三条市住民アンケート「ぐるっとさん」利用者 N=16



※ぐるっとさんは時刻表より算出。最短で行くことができる便を利用した場合の時間

※マイカー利用はH17年道路交通センサスデータより算出

図. 北・南コースとマイカー利用の所要時間比較

(2) 運行形態の見直し (Aコース・Bコース)

■ 運行本数・運行時刻の見直し

高校の授業・部活動スケジュールを考慮し、通学・帰宅時間帯の運行本数を増強します。

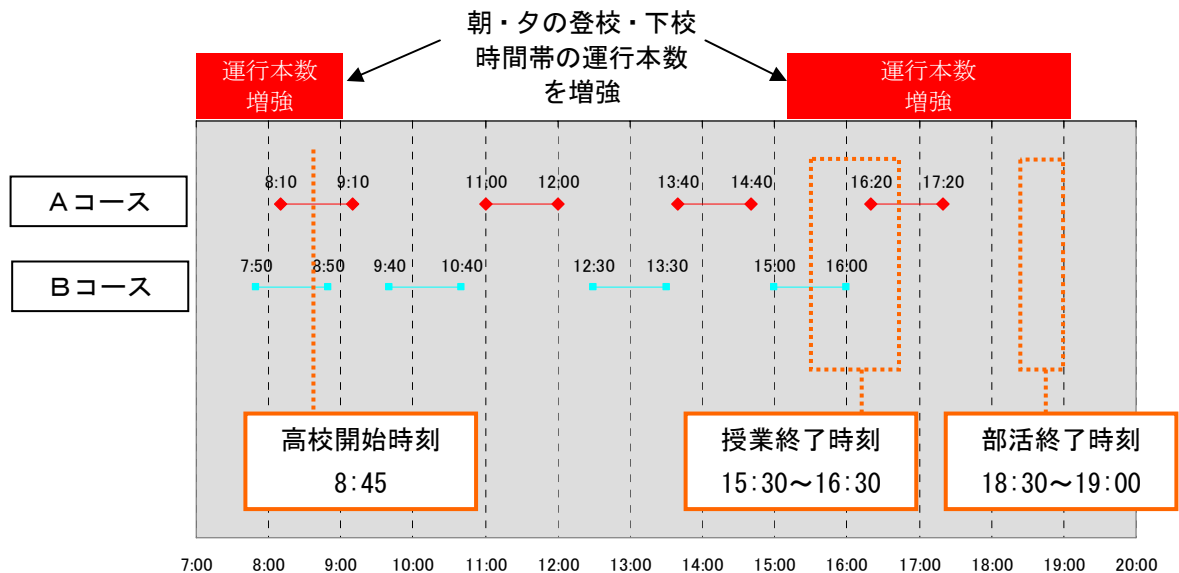


図. Aコース・Bコースの現状の運行時間帯と学生に対応した改善
※高校開始時刻等は市内高校（4校）の状況

■ 分かりやすい運行ルートの設定

A・Bコースを同一ルートに設定するなど、利用者にとって分かりやすいルートに見直します。

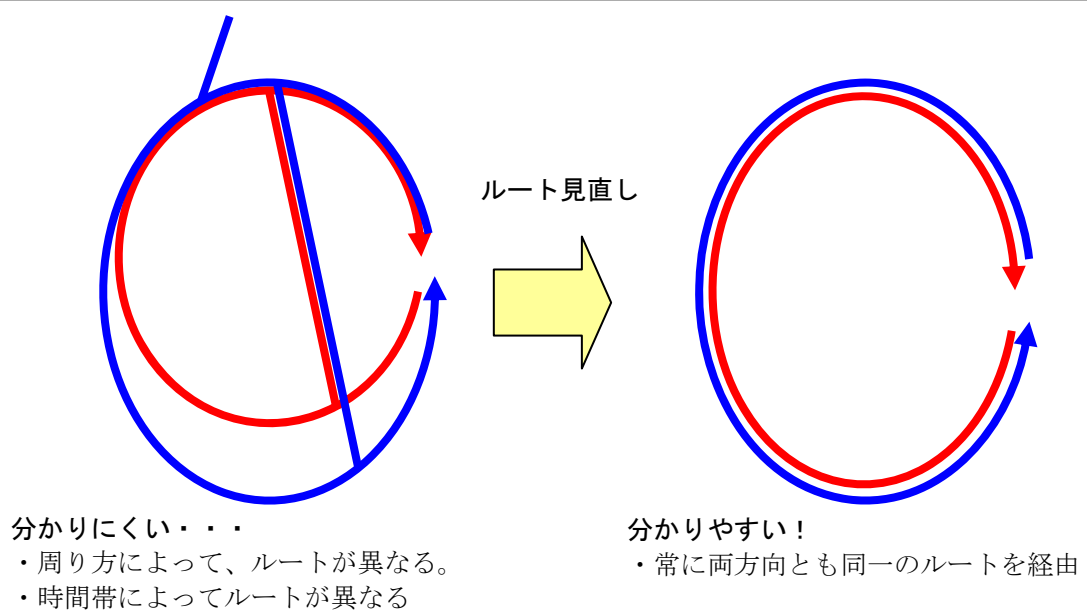


図. 循環バスの分かりやすい運行ルートへの見直しイメージ

運行本数の増強に合わせて、他交通手段との乗り換え利便性を高めるため、新たに燕三条駅周辺にアクセスするルートを設定します。

運行本数の増強に合わせて、他交通手段との乗り換え利便性を高めるため、新たに燕三条駅周辺にアクセスするルートを設定します。

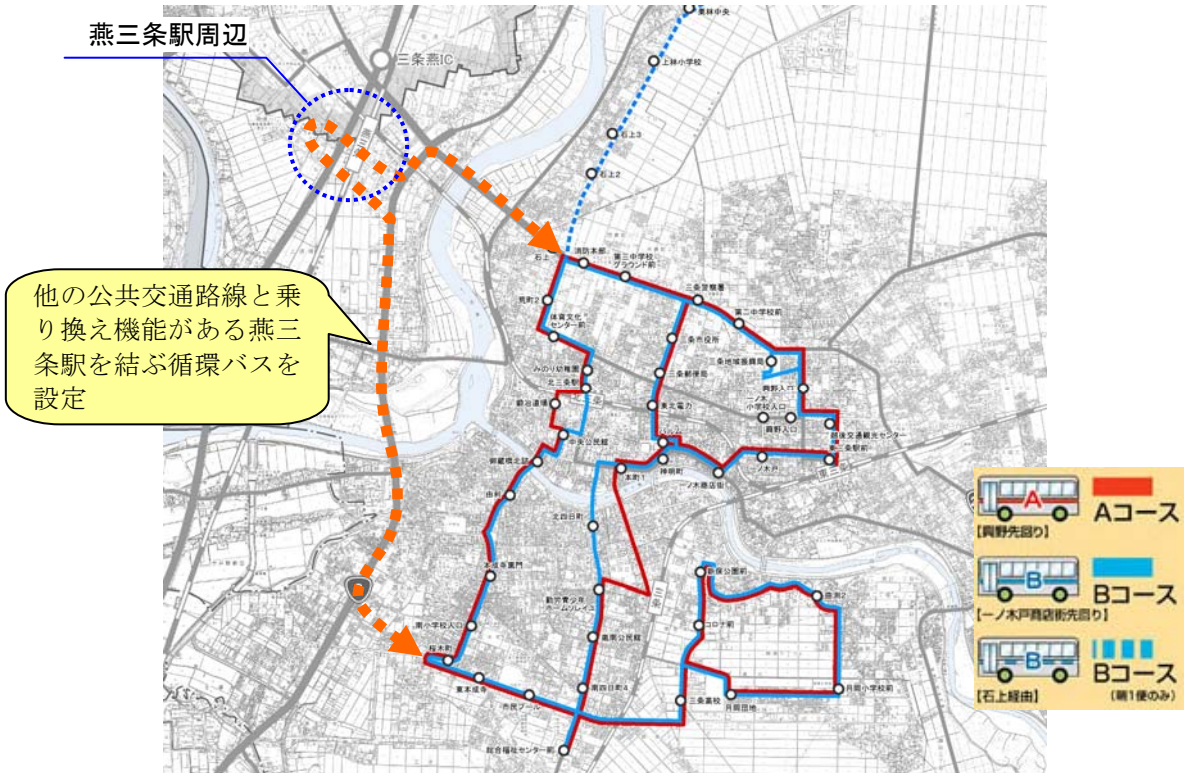


図. Aコース・Bコースの運行ルートの新設

■定期券の導入

市民の日常生活において循環バス「ぐるっとさん」を定着させるため、定期券を導入します。

また、休日において定期券所持者と同時に循環バスを利用することで家族の利用料金が割り引かれる制度の導入を検討します。

●現在の運賃

大人 150 円

子供 80 円

中高生 100 円

●現在の支払い方法

現金

回数券

おとな 12 枚つづり 1500 円 ⇒ 300 円得

こども 11 枚つづり 800 円 ⇒ 80 円得

現状の割引サービス
は回数券のみ

図. ぐるっとさんの運賃と支払い方法



図. 伊予鉄道株式会社の事例

※伊予鉄道株式会社HPより

施策 5-1

公共交通に関するPR

実施主体：三条市地域公共交通協議会（三条市）

■公共交通マップの作成

地区・目的別の公共交通の利用方法がわかる情報（公共交通マップ）を提供します。

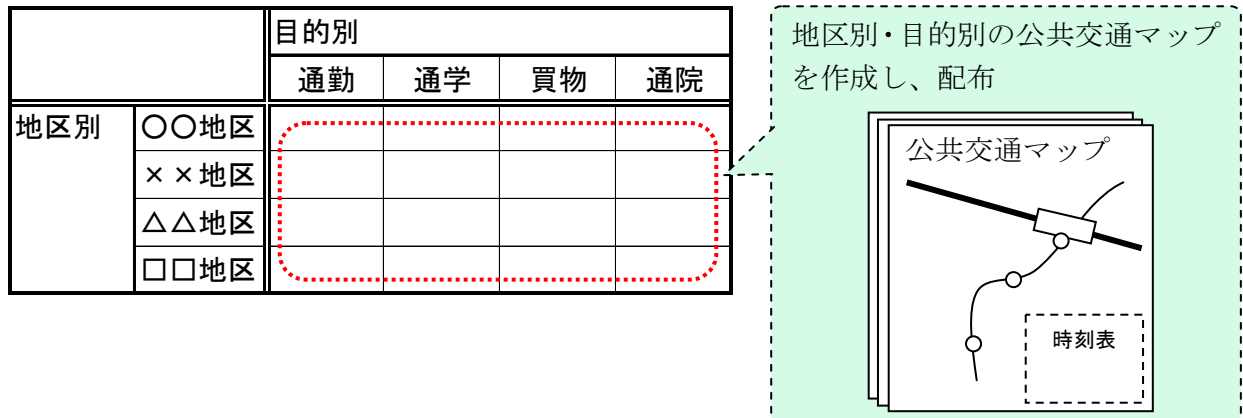
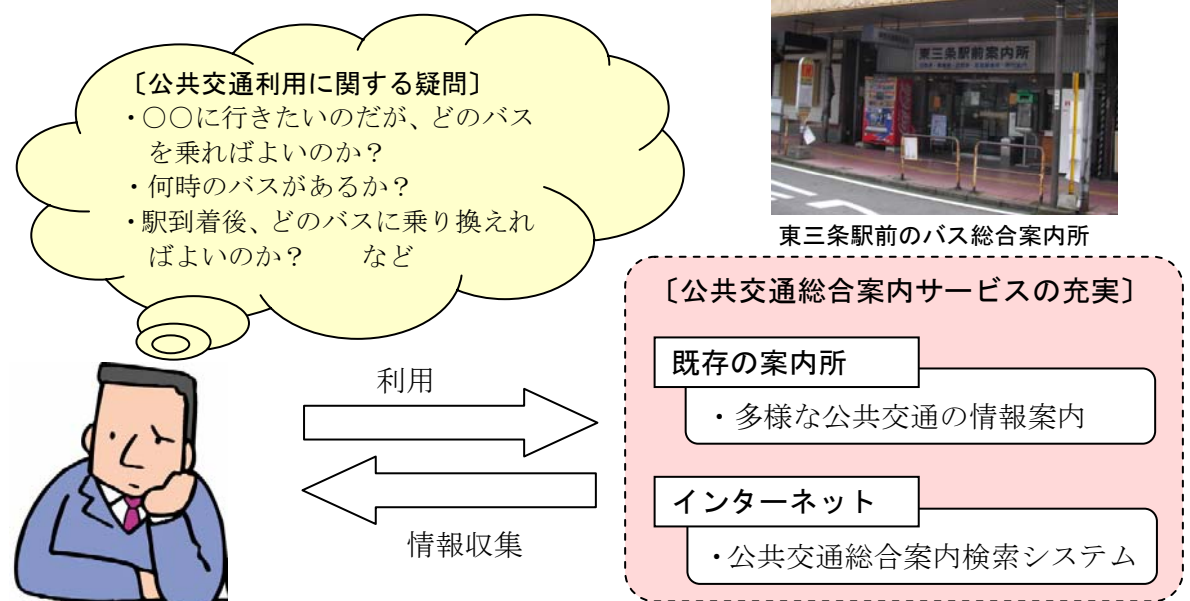


図. バス路線マップ作成の考え方

■公共交通総合案内サービスの充実

既存のバス、鉄道に関する情報案内サービスの連携により、三条市全体の公共交通総合案内サービスを充実させます。

また、新たな情報案内システムを構築に向けた検討を進めます。



東三条駅前のバス総合案内所

図. 公共交通総合案内サービスの充実の考え方

施策 5-2

モビリティマネジメントの実施

実施主体：三条市地域公共交通協議会（三条市）

■施策と連動したモビリティマネジメントの実施

公共交通の利便性向上に向けた施策の実施に合わせて、TFPなどの公共交通利用に関する意識啓発を実施します。

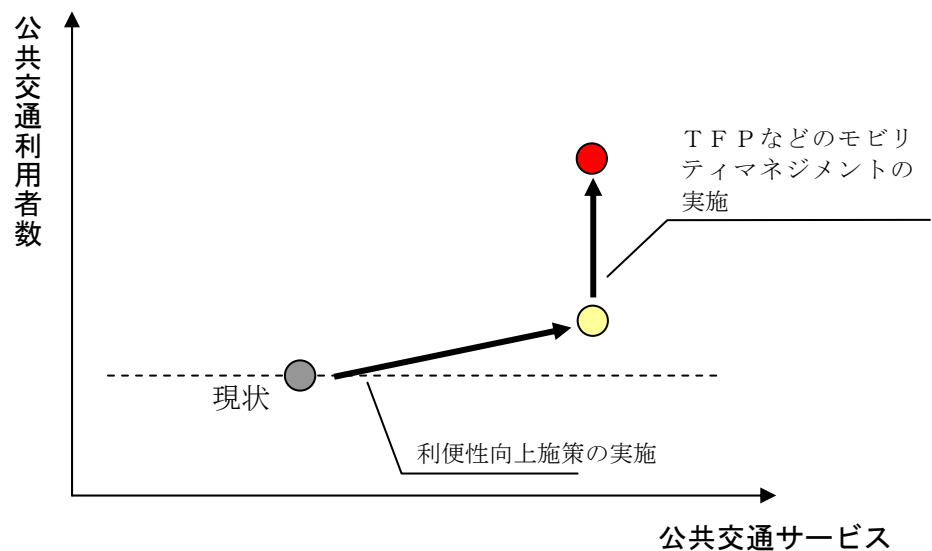


図. 施策と連動したモビリティマネジメントの実施の考え方

■その他の啓発事業の実施

- ・公共交通に関するイベント(シンポジウムなど)の開催
- ・車の利用を抑えるノーマイカーデーの実施
- ・学校におけるモビリティマネジメントの実施 などの啓発事業を実施します。

施策 5-3

公共交通を支える住民組織への支援

実施主体：三条市地域公共交通協議会（三条市）

■公共交通サポーター制度の導入

市民から公共交通サポーターを募集し、サポーター(市民)と運行に関わる関係機関との双方向の情報交換と支援に向けた仕組みづくりを検討します。

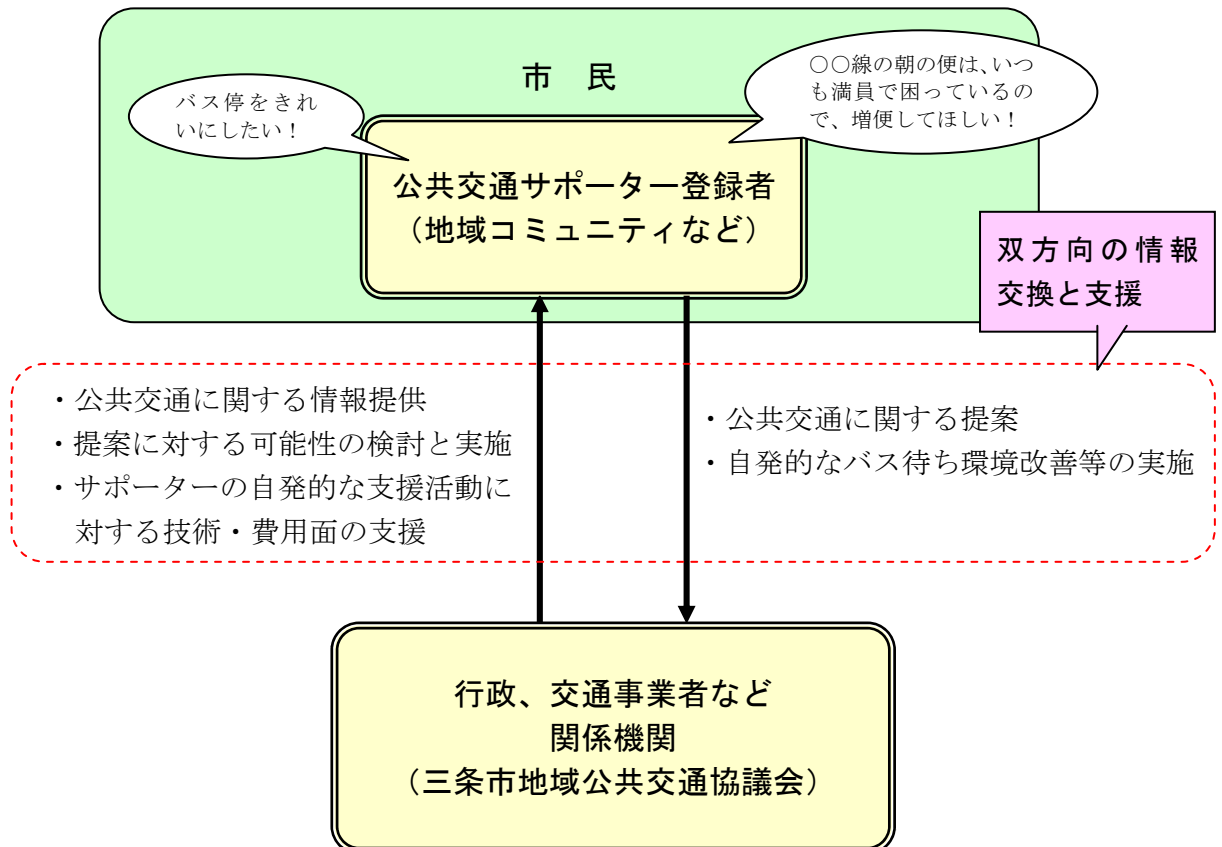


図. 公共交通サポーターズ制度（案）

■住民がバスを走らせるための仕組みづくり

地域住民自らが運行形態(ルート、本数、運行時間など)を考え、リーダー組織を中心に地域住民が一丸となって効率的な運行を実施します。

また、住民が主体となった運行に向けた取り組みを行政などが技術面・費用面で必要に応じて支援します。

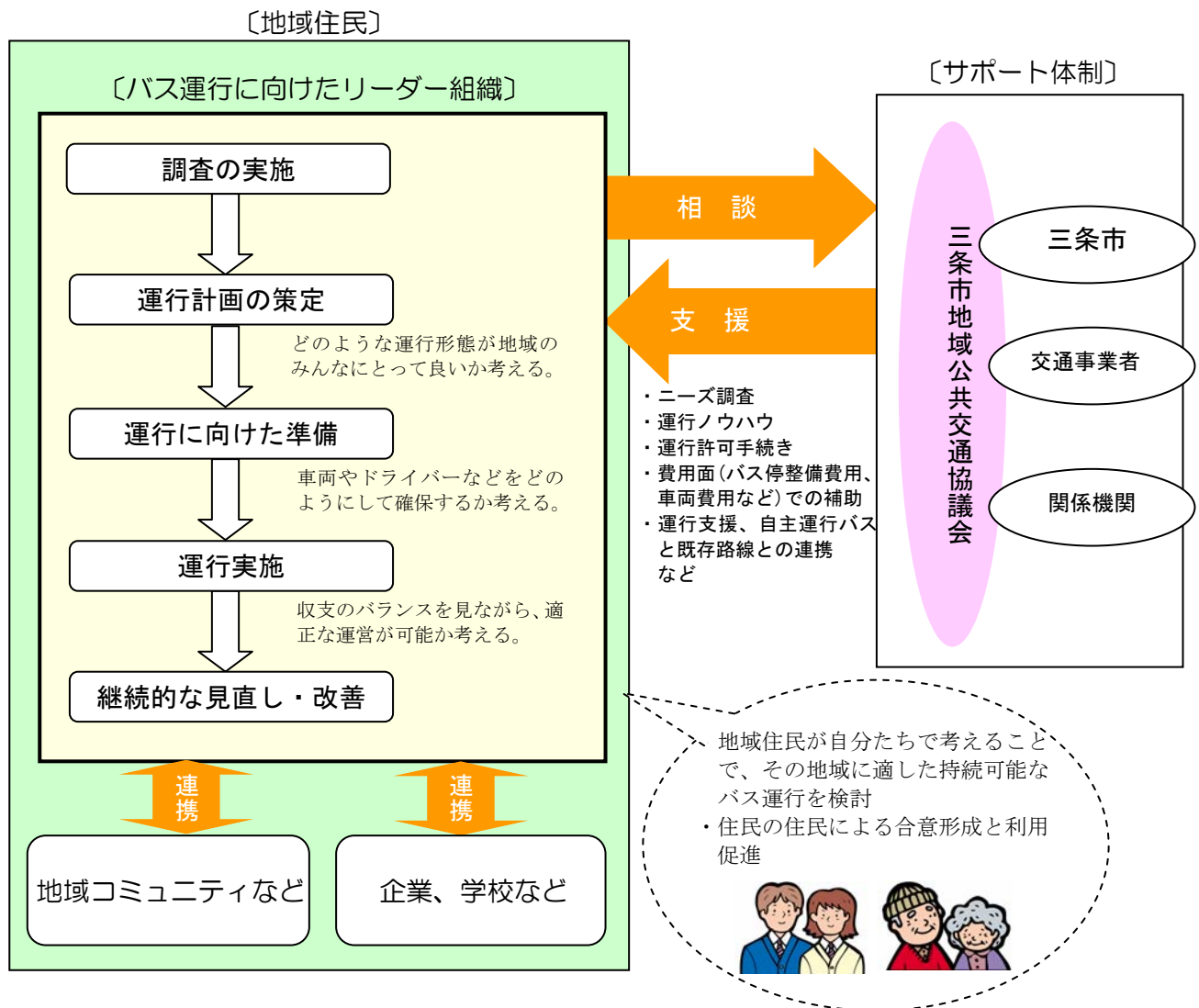


図. 運行までの主な流れと連携サポート体制

8.3 社会実験計画（H20年度計画）

8.3.1 社会実験の目的

公共交通活性化に向けて検討した施策の本格実施に先立って、一定期間試行的に実施し、施策の有効性や恒久化に向けた課題を検証することを目的とします。

8.3.2 社会実験の流れ

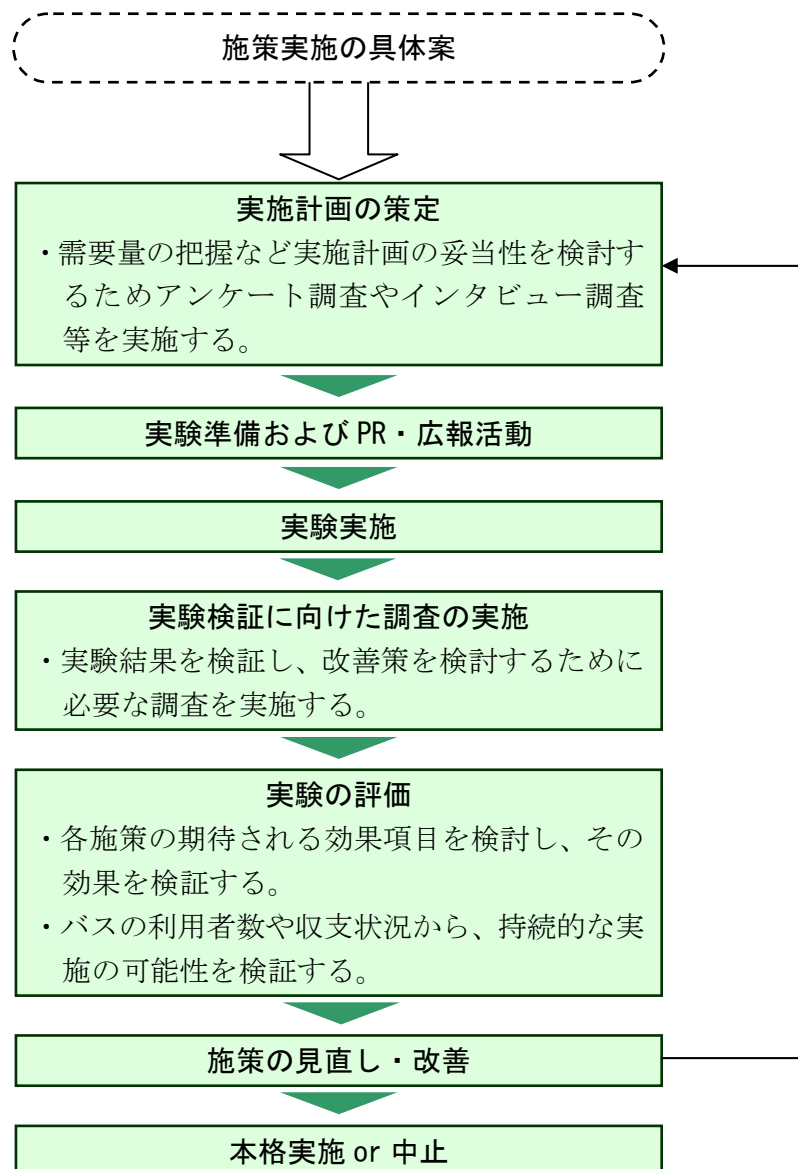


図. 社会実験の流れ

8.3.3 社会実験実施内容

(1) H20年度社会実験実施内容（目標達成のための事業及び実施主体）

	施 策	内容・実施主体
社会実験 1	下田地区における公共交通利便性向上実験 ●重点施策 施策 4-3 高齢者用デマンドバスの運行 施策 4-4 地域内における学生用デマンドバスの運行 施策 4-5 下田地区通学専用バスの運行	【内容】 下田地区において、高齢者と高校生の公共交通利便性の向上を図るため、高齢者・学生用デマンドバス、三条市内高校へのライナーバスを運行する。 【実施主体】 三条市地域公共交通協議会 （三条市・地区協議会・法定協議会参加交通事業者）
社会実験 2	循環バス「ぐるっとさん」の利便性向上実験 ●重点施策 施策 4-6 循環バス「ぐるっとさん」の運行形態の見直し [A・Bコースの見直し]	循環バス「ぐるっとさん」の利便性向上と潜在需要への対応としてAコース、Bコースについて運行時間帯、ルートを見直す。 【実施主体】 三条市地域公共交通協議会 （三条市）
社会実験 3	井栗地区における地域住民主体のバス運行実験 ●重点施策 施策 5-4 地域住民が主体となったコミュニティバスの運行 施策 4-6 循環バス「ぐるっとさん」の運行形態の見直し [北コースの見直し]	井栗地区において、地域が主体となった運行形態を地域が考え、地域内の小中学生や高齢者の生活交通を確保するためのバスを運行する。 【実施主体】 三条市地域公共交通協議会 （三条市・井栗コミュニティ・法定協議会参加交通事業者）

(2) 社会実験の具体案

社会実験 1	下田地区における公共交通利便性向上実験
--------	---------------------

以下の運行手法により社会実験を行い、下田地区の公共交通利便性向上の手法を検証する。

運行手法	運行形態	実施主体
〔既存路線〕 ①東三条～八木ヶ鼻温泉線	●運行方法：定時定路線型運行 ●路線数：1 路線 ●運行時間帯：6:30～21:42 ●運行本数：1 日約 20 便(片方向) ●導入車両：大型バス(70 人乗り) ●運賃：対距離制 (参考)長沢駅跡バス停～東三条駅 310 円(学生通学 1 ヶ月定期券 10,600 円) 八木ヶ鼻温泉～東三条駅 560 円(学生通学 1 ヶ月定期券 19,100 円)	越後交通（株） (4 条路線として運行中)
〔新規・社会実験〕 ②高校ライナーバス	●対象者：下田地区高校生 ●運行方法：定時定路線型運行 ●路線数：2 路線 長沢駅跡～三条高校～新潟県央工業高校、長沢駅跡～三条商業高校～三条東高校 ●運行時間帯：通常平日 7:00～9:00 ※休日は運行しない ※長沢駅跡、八木ヶ鼻温泉においては東三条～八木ヶ鼻温泉線の長沢駅跡における連絡を考慮して設定 ●運行本数：往路 朝 1 便 ●導入車両：大型バス(70 人乗り) ●運賃：長沢駅跡～東三条駅の学生割引定期券により利用	・三条市地域公共交通協議会 (三条市・地区協議会・法定協議会参加交通事業者)
〔新規・社会実験〕 ③高齢者に対応したデマンドバス	●対象者：主に高齢者 ●運行方法：フレックス方式のデマンド型運行 路線を定めず、起終点および経由地を固定し、対象エリア内の登録者の予約状況から、運行ルートを設定 ⇒予約受付、乗降順序と到着時間の計算、到着時刻のコールバックなどの機能を持った予約センターを設置 ●起点：遅場・笠堀・いい湯らてい ●経由地：いい湯らてい・長沢駅跡バス停・主要施設 ※三条市中心部の経由施設（目的地）については、地区アンケート等により決定 ●予約方法：電話による予約(1 時間 30 分前までに予約) ●運行時間帯：8:00～18:00 ※時刻表は経由地や施設の到着時刻で設定 ※長沢駅跡、八木ヶ鼻温泉においては東三条～八木ヶ鼻温泉線の長沢駅跡における連絡を考慮して設定 ●運行本数：1 時間に 1 本設定 ※予約便のみ運行する。 ●導入車両：ジャンボタクシー(9 人乗り) ●運賃：自宅～長沢駅跡 200 円、自宅～三条市中心部施設 500 円	・三条市地域公共交通協議会 (三条市・地区協議会・法定協議会参加交通事業者)
〔新規・社会実験〕 ④東三条～八木ヶ鼻温泉線にアクセスするデマンドバス	●対象者：下田地区高校生 ●運行方法：定時定路線型運行、デマンド型の併用型運行。(時間帯により変更) ●路線数：6 路線 長沢駅跡～新屋・田屋・福沢・小長沢、八木ヶ鼻温泉いい湯らてい～遅場・笠堀 ※長沢駅跡～曲谷～新屋線、長沢駅跡～駒込線の既存路線は当路線により代替 ●運行時間帯：6:00～8:00 定時定路型バス。 16:00～18:00 定時定路型バス 18:00～20:00 デマンド型 ●運行本数：1 時間に 1 本設定 ※デマンド運行時間帯は、予約がない場合運行しない ※時刻表は東三条～八木ヶ鼻温泉線の長沢駅跡における連絡時間を考慮して設定 ●デマンド運行時の予約方法：電話による予約(1 時間前までに予約) ●導入車両：定時定路線型運行時は小型バス(22 人乗り)、デマンド型運行時はジャンボタクシー(9 人乗り) ●運賃：200 円	・三条市地域公共交通協議会 (三条市・地区協議会・法定協議会参加交通事業者)

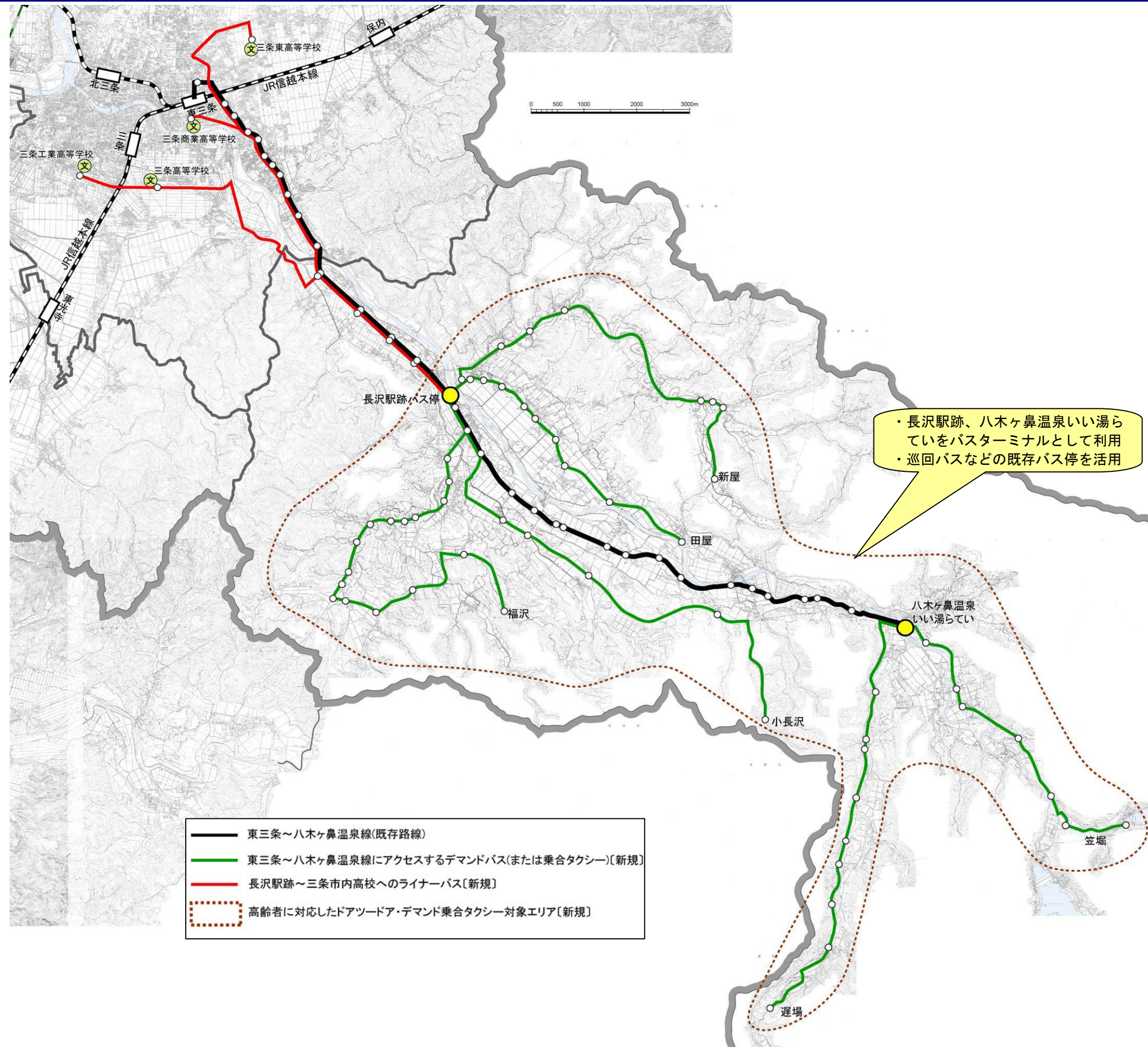


図. 社会実験時の下田地区のバス運行ルートとバス停位置案

社会実験 2

循環バス「ぐるっとさん」の利便性向上実験

循環バス「ぐるっとさん」のA・Bコースの運行時間帯・ルートを見直するとともに、燕三条経由の路線を新設し、三条市中心部の公共交通利便性向上の手法を検証する。

見直し項目	現状	社会実験内容
運行ルート	2 路線 ・ 興野先回り ・ 一ノ木戸商店街先回り	4 路線 ・ 興野先回り ・ 一ノ木戸商店街先回り ※既存ルート見直しは調査分析により決定 〔新規路線〕 ・ 興野先回り(燕三条駅経由) ・ 一ノ木戸商店街先回り(燕三条駅経由)
運行時間帯	7:50～17:20	7:00～20:00
運行本数	概ね 2 時間 20 分に 1 本 (朝、夕方 それぞれ 1 本)	7:00～9:00、15:00～20:00 1 時間に 1 本程度 9:00～15:00 2 時間に 1 本程度
導入車両	小型バス(22 人乗り)	小型バス(22 人乗り)
運賃	大人 150 円 子供 80 円 中高生 100 円	・ 現状運賃 ・ 定期券を導入(割引考慮)
実施主体	三条市 (越後交通(株)に運行委託)	三条市地域公共交通協議会(三条市)

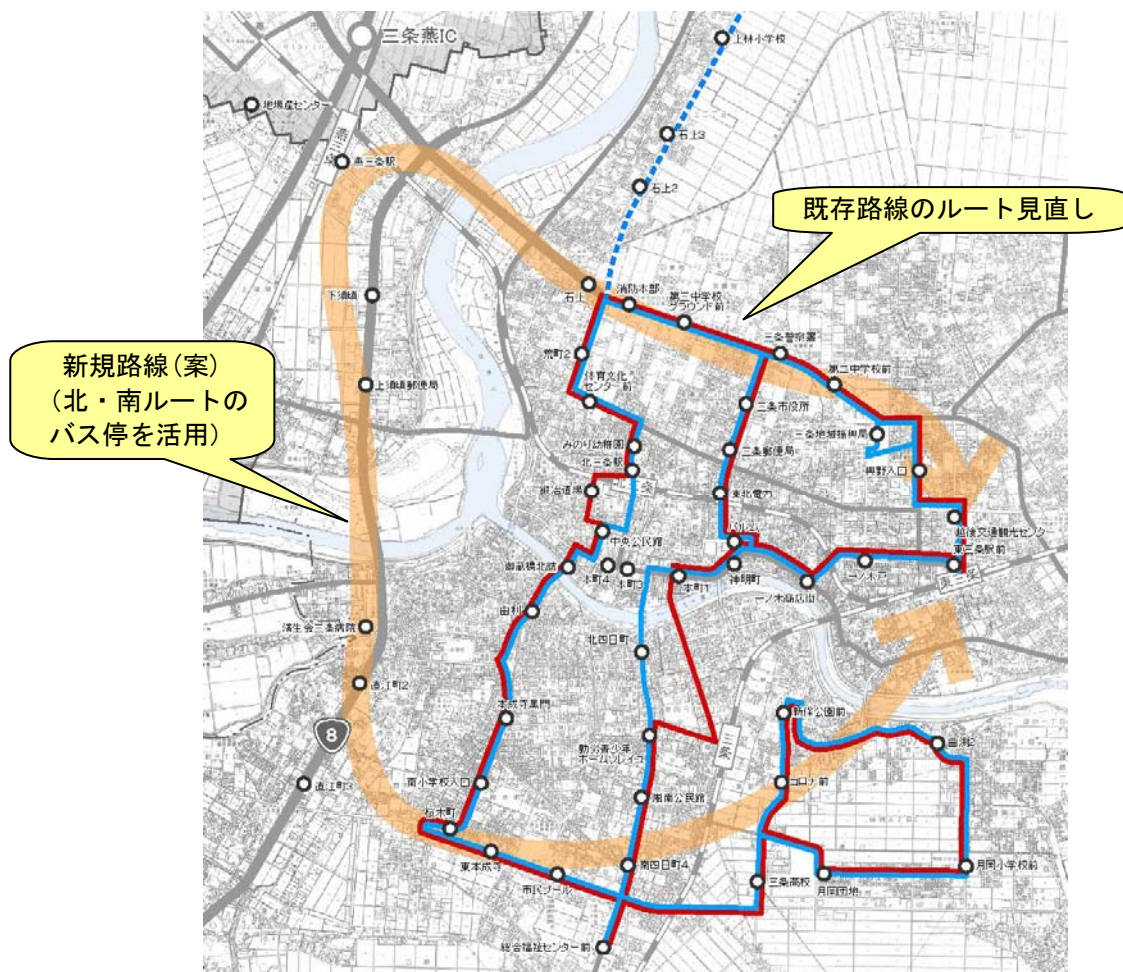


図. 社会実験時における循環バス「ぐるっとさん」の運行ルート(案)

社会実験 3

井栗地区における地域住民主体のバス運行実験

井栗地区における小学生の登校不便の解消、高齢者の生活交通確保を目的に、住民が主体となったバスの運行を実施します。

項目	社会実験内容
運行ルート	白山～第四中学校前～井栗小学校～三条東高校～東三条駅
運行時間帯	7:00～20:00
運行本数	1時間～2時間に1本 ※朝および夕方は、小中学生の登下校に配慮
導入車両	ジャンボタクシー(9人乗り)
運行主体	三条市地域公共交通協議会 (三条市・井栗コミュニティ・法定協議会参加交通事業者)

※運行ルート、目的地（目的施設）などの詳細は地域懇談会の結果に基づき決定する。



図. 井栗地区住民バスの運行ルート(案)

(3) 社会実験に向けた事前調査

社会実験の具体案をもとに、地区住民との公共交通懇談会や利用意向調査等を実施し、社会実験の詳細な調整と利用者数の想定を行います。

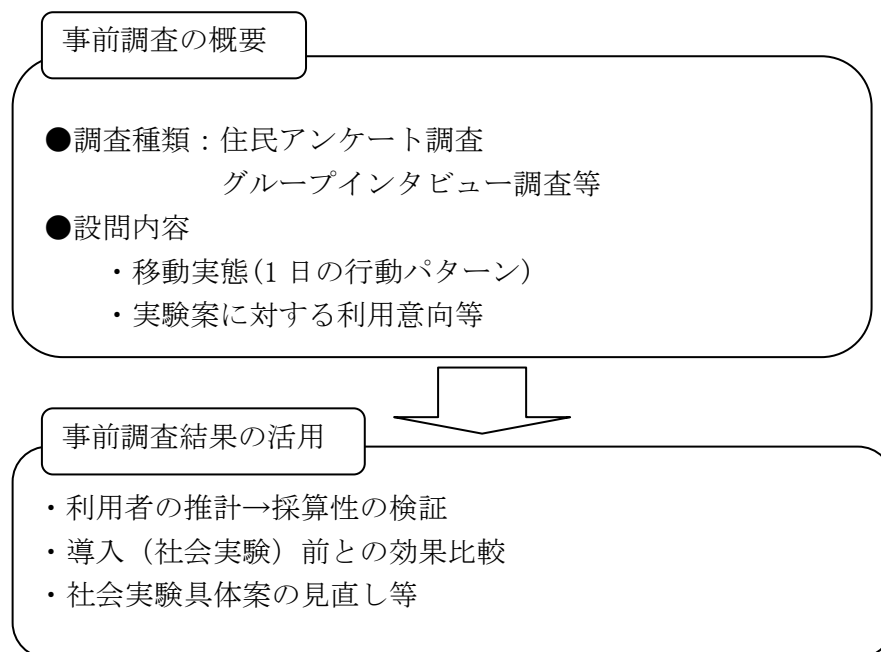


図. 事前調査(案)

(4) PR・広報活動

社会実験への参加を促すために実験内容(運行ルート、時刻表、料金、実験期間、利用方法など)について住民に周知します。

表. PR・広報活動の内容(案)

媒体	内容
チラシ	実施地区での全世帯にチラシを配布する。
ポスター	バス停既存バス路線車内、公共施設、駅、学校等に掲示する。
インターネット	三条市のホームページを活用する。
電子メール	三条市のメール配信サービスを利用し、三条市のメルマガ登録者へ配信する。
広報誌	広報「さんじょう」に掲載する。
無料参加の実施	社会実験当初は利用料を無料にし、実体験してもらう。

(5) 社会実験の評価

社会実験の効果、利用者数などから恒久化に向けた課題を把握し、本格実施に関する判断材料とする。

なお、可能な限り、個別の施策単位での評価を行う。

表. 社会実験の評価に向けた検証内容(案)

検証内容		検証項目	把握に必要な調査
事業効果	社会参加の機会の増加	外出回数	利用者アンケート調査
	送迎負担の軽減	家族の送迎回数	住民アンケート調査
	バスの定時性向上	バスの旅行速度	バスの旅行速度調査
	バス待ち時間の減少	利用者のバス待ち時間	利用者アンケート調査
	健康増進	利用者の意見	利用者アンケート調査
	地球環境の保全	マイカー利用者数 二酸化酸素排出量	利用者アンケート調査 交通量調査 旅行速度調査
採算性		利用者数 収入と支出のバランス	利用者数調査

(6) 検討・実施体制

社会実験を実施する地区ごとに、地域住民・自治体などの関係者で組織される分科会を立ち上げ、専門家や利用者の意見反映・実施に向けた役割分担の明確化・P D C Aサイクルによるマネジメントの実施により、効率的に社会実験を推進します。

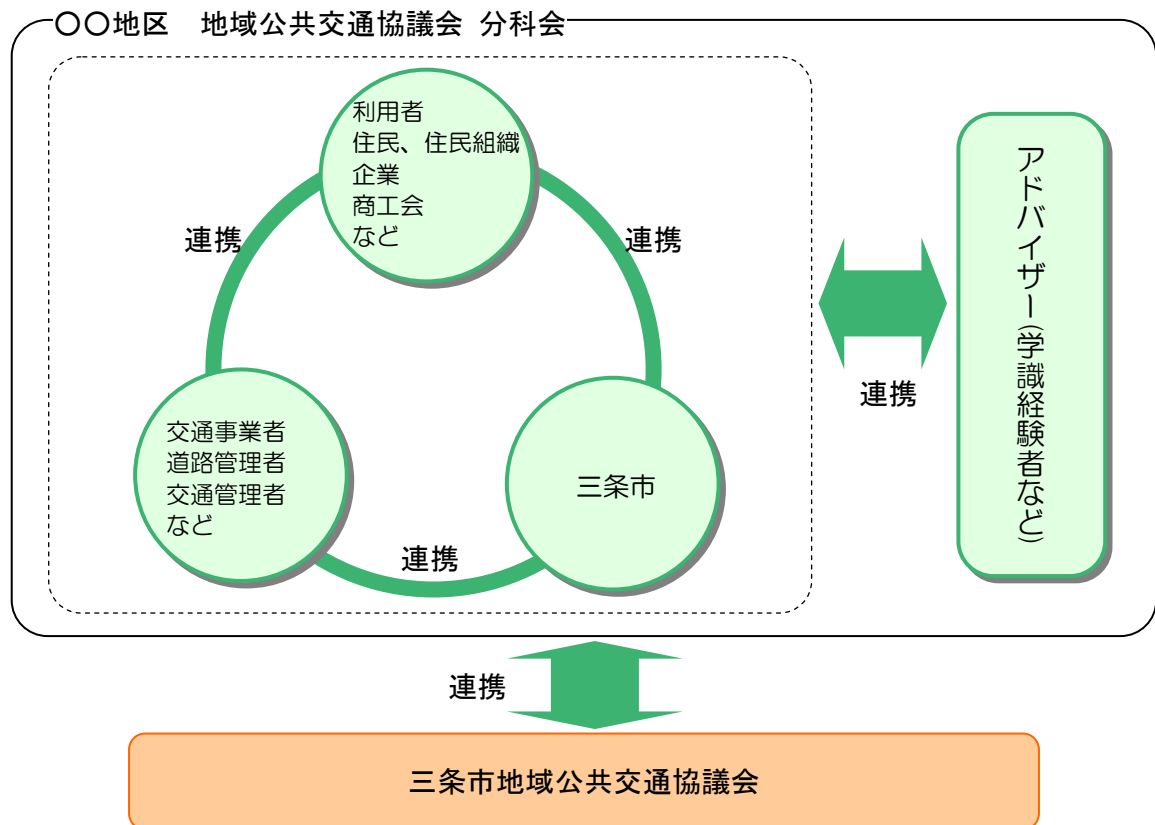


図. 社会実験の推進のための連携体制

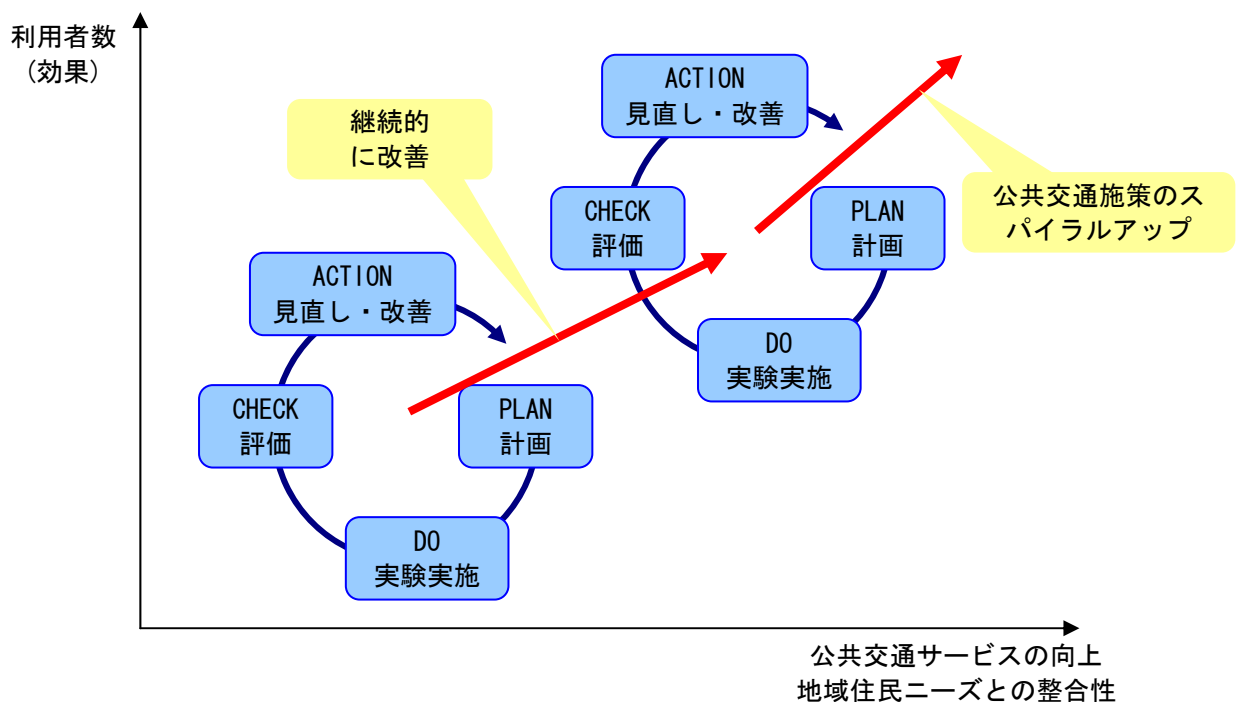


図. PDCA サイクルと継続的な改善